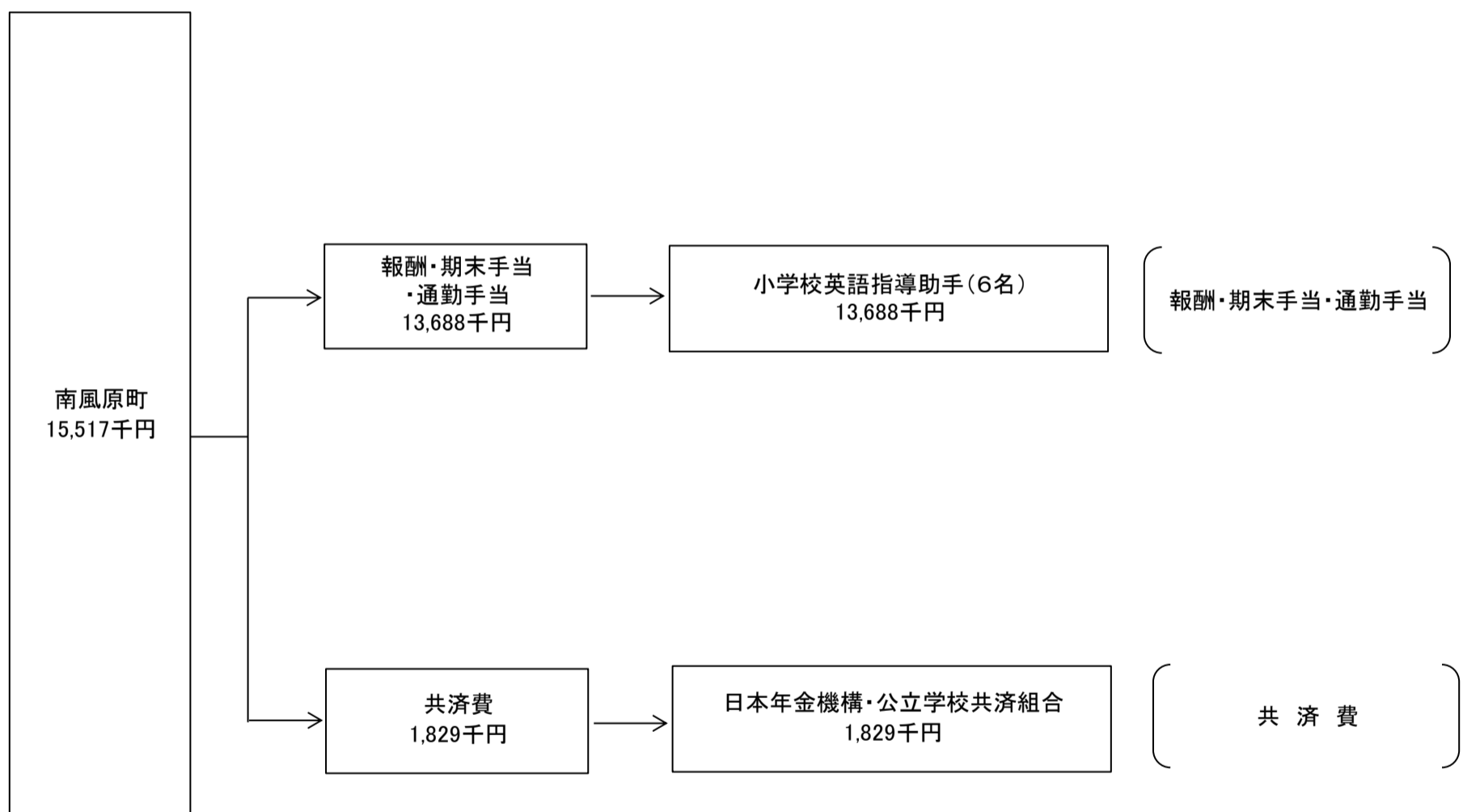


市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	小学校英語指導助手配置事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア	
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年	沖縄振興基本方針該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の推進		
事業内容	小学生のうちから英会話に触れさせ、英会話や英語圏の文化について興味を持たせ英語力を向上させるため、小学校に英語指導助手を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		7,200	7,200	14,277	15,848	16,675
			7,200	7,200	14,058	15,497	16,257
			0	0	-219	-351	-418
			0	0	0	0	0
			7,200	7,200	14,058	15,497	16,257
	B. 執行済額		7020	7130	13825	14,931	15,517
	うち交付金充当額		5616	5704	11060	11,945	12,413
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		97.5%	99.0%	98.3%	96.3%	95.4%
予算の状況の説明		当初166,103円×4名、157,522円×1名、151,200円×1名で採用予定だったが、166,103円×4名、151,200円×2名の採用となった事で報酬及び期末手当等が減少した事により、交付対象外経費が発生し439千円の不用額が生じ予算執行率が95.4%となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	小学校英語指導助手配置数:6人 ・4名 4校各1名 ・2名 中学校区各1名		目標 (4人) 実績 4人	(6人) 6人	(6人) 6人	(6人) 6人	
			目標 () 実績	() ()	() ()	() ()	
達成状況説明	町内小学校4校全てと2中学校区に1名ずつ全てに英語指導助手を配置することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う児童の割合:80%以上		目標 () 実績	(80%以上) 79.50%	(80%以上) 77.65%	(80%以上) 88.5%	()
	【参考指標】		目標 () 実績	()	()	()	()
			目標 () 実績	()	()	()	()
	進捗状況説明	・アンケート調査を行った結果、88.5%と目標(指標)を8.5%上回り、3年間で最高の実績となり、外国の人と友達になりたい児童・生徒が増えている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・アンケート調査を行った結果、17.8%の児童・生徒は「外国の人と友達になりたい、もっと知りたい」に対し「そう思わない」と回答している事から授業を通して興味を持って貰える取組が必要。</p>	<p>・全学年を通して外国語に興味を持ってない理由として「授業が難しかった」との回答が多数をしめている事から、楽しく授業に参加できる取組が必要と考える。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・全校の児童・生徒が楽しく授業に参加できるよう、担任、英語指導助手と連携を図り、授業の改善に取り組み、授業が楽しかったと思える環境を整えていく。 ・児童が外国語に興味を持てるようにするにはどのように取り組むべきかを調査検討し、連携強化のため研修等も行いながら、より質の高い授業が展開できるように取り組む。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
15,819	15,517	12,413	3,104	302



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○英語指導助手の選定は採用前に面接を行い、資格や発音が正確な助手を採用しており選定方法は妥当である。 ○学校の授業規模にあった配置を行っており、予算規模は適正である。 ○費目使途が事業目的に即しているかについては南風原町の「南風原町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例」に決められた給料や手当等を支払っており適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町							
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-③ 学力調査等事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第4章-5-(2)-ア 確かな学力を身に付ける学校教育の充実						
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度 平成24~令和13年度 沖縄振興基本方針該当箇所 III-3-(1)						
事業内容	個々の学力を把握することで一人ひとりの課題を明確にし、児童生徒のさらなる学力向上に繋げるため、学力調査等を実施する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		4,451	4,530	4,895	4,705	4,306	
			4,451	4,530	3,994	4,127	4,338	
			0	0	-901	-578	32	
			0	0	0	0	0	
			4,451	4,530	3,994	4,127	4,338	
	B. 執行済額		4,126	4,234	3,977	4,093	4,230	
	うち交付金充当額		3,301	3,387	3,181	3,275	3,383	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		92.7%	93.5%	99.6%	99.2%	97.5%	
予算の状況の説明		町内全ての小中学校(小学校4校、中学校2校)において学力調査を実施し、適正な予算執行を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	学力調査等の実施 小学校4校中4校 (国語・算数・5年生理科) 中学校2校中2校 (国語・数学・理科・社会・英語)	目標	(小学校4校中4校 中学校2校中2校)	()	()	()		
		実績	小学校4校中4校 中学校2校中2校					
	①標準学力調査の実施・小学校4校 2年~3年:国語・算数 ②学力調査の実施・中学校2校 3年:国語・数学・理科・社会・英語 ③リーディングスキルテストの実施 ・小学校4校 6年 ・中学校2校 1年~2年 ④外部講師による公開授業	目標	()	(小学校4校中4校 中学校2校中2校)	(小学校4校中4校 中学校2校中2校)	(小学校4校中4校 中学校2校中2校)		
	実績		小学校4校中4校 中学校2校中2校	小学校4校中4校 中学校2校中2校	小学校4校中4校 中学校2校中2校			
達成状況説明	標準学力調査、学力調査、リーディングスキルテストについて、対象の小中学校で計画どおり実施する事ができた。また、外部講師による公開授業の実施も計画通り実施できた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	標準学力調査の平均回答率が目標値以上の科目数 小学2年:2科目/2科目 小学3年:2科目/2科目		目標	()	(小学1年~2年: 2科目(全科目))	(小学1年~2年 2科目(全科目))	(小学1年~2年 2科目(全科目))	()
		実績		小学校:1年(2科目) 2年(0科目)	小学校:1年(2科目) 2年(0科目)	小学校:2年(1科目) 3年(0科目)		
	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差の合計 小学校:算数-1.0ポイント以上		目標	()	(小6 算数+0.7)	(小6 算数+3.3)	(小6 算数-1.0)	()
		実績		小6 算数-3.3	小6 算数-0.1	小6 算数+1.1		
	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差の合計 中学校:数学+5.1ポイント以上		目標	()	(中1 数学+9.1 中2 数学+6.6)	(中1 数学+0.9 中2 数学+0.9)	(中1 数学+5.1 中2 数学+5.1)	()
	実績		中1 数学+1.6 中2 数学+3.4	中1 数学-0.2 中2 数学+0.2	中1 数学-0.5 中2 数学+0.3			

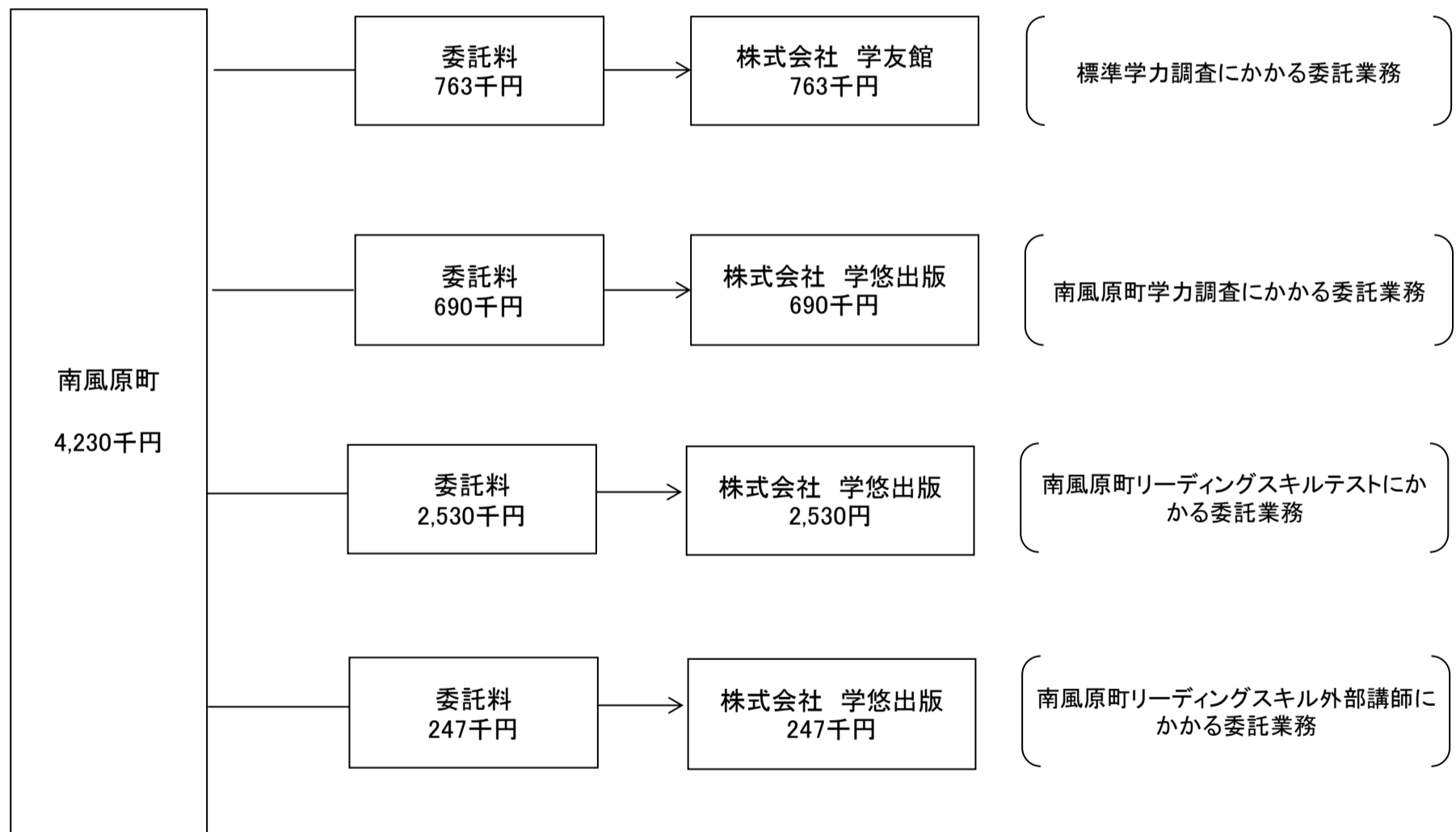
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 標準学力調査の実施により、国語においては小学2年生の正答率が8割近くまで達し、目標値を上回っている。しかし、小学3年生では「書くこと」の領域問題が極端に弱く苦手分野の課題が見えた。 算数では、小学2年と3年ともに目標値を下回っており基礎的な知識の問題は7割くらい出来ているが、思考的な問題は約5割の正答率であり文章問題になると解けない子が多い傾向がある。 県学力到達度調査では、目標値には達していないが県の平均並みの結果であった。
--------	---

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に、学習の対象や文脈から設問の目的を自分なりに捉え、解決に導くことに課題がみられる。 問題の意図することを読み取れるように授業の工夫が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校、中学校ともに、選択式の問題はある程度解答できているが、目的や「問い」を自分で明らかにして条件に合うよう考え表現する力が弱いので、課題が何かを明らかにし、解決策を見通したり、振り返ったりしながら全体を捉える力の育成に努める。 「問い」をしっかり理解できるよう課題解決に向け引き続き、全教科で読解力を意識した授業改善に努める。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 全教科で読解力を意識した授業を行うことで、問題の意図することを読み取れる力や文脈を理解する力が付けられるよう取り組む。 授業の中で、学習のねらいを意識した意図的な発問や思考を広げたり深める発問を取り入れた授業展開を工夫するなど授業改善を図る。 1人1台端末やデジタル教材等の効果的な活用により思考力、判断力、表現力等の育成を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,230	4,230	3,383	847	0

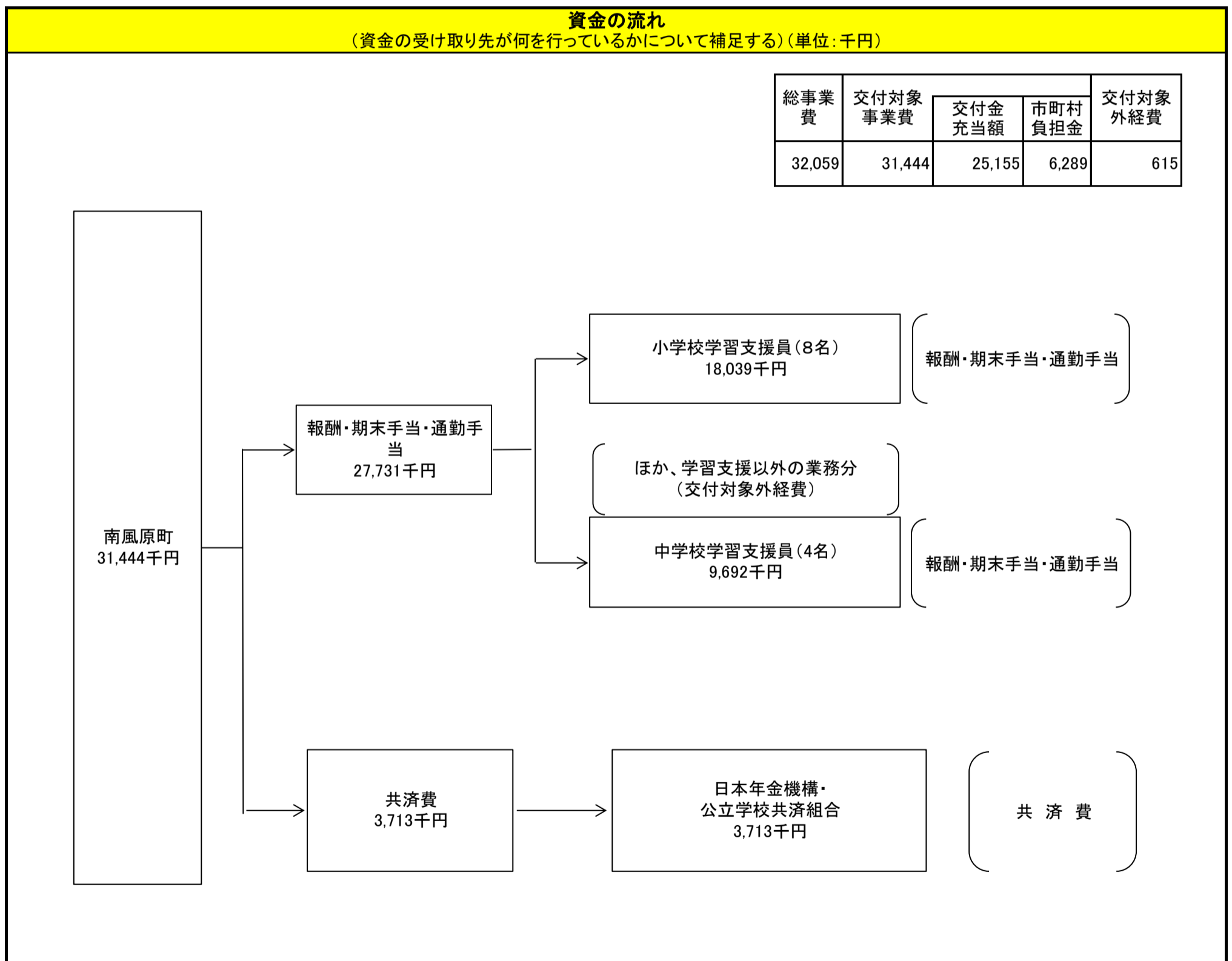


資金の流し、点検、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者の選定方法は、全国で採用している市町村が多く、学力の比較がしやすい調査を実施している業者を選定し、随意契約とした。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、本事業の完遂に必要な費用に限られており、適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、学力調査委託料として目的に即し、受験者数に応じ支出しており適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	学習支援員配置事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア	
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成24年～令和13年	沖縄振興基本方針 該当箇所	確かな学力を身に付ける学校教育の充実		
事業内容	通常の授業についていけない児童生徒の学力向上を図るため、小・中学校に学習支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	24,960	23,040	30,621	40,173	35,072
		(b) 予算現額	24,960	23,040	33,198	37,517	33,112
		(c) 増減額(b-a)	0	0	2,577	-2,656	-1,960
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	24,960	23,040	33,198	37,517	33,112
	B. 執行済額		23879	22004	31529	35587	31444
	うち交付金充当額		19103	17603	25223	28469	25155
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		95.7%	95.5%	95.0%	94.9%	95.0%
予算の状況の説明		小学校で2名、中学校で1名、途中退職がおり代替の人材を確保するのに時間を要したこと、時短勤務等により予算現額より95.0%の執行率となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	支援員配置 (小学校)8名:4校各2名配置 (中学校)4名:2校各2名配置	目標	(小学校8人 中学校4人)	(小学校10人 中学校4人)	(小学校10人 中学校4人)	(小学校8人 中学校4人)	
		実績	小学校8人 中学校4人	小学校10人 中学校4人	小学校10人 中学校4人	小学校8人 中学校4人	
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	途中退職者がおり、代替の人材を確保するために時間を要したこともあったが、概ね各校2名の学習支援員を配置することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	・小学校 沖縄県学力定着状況調査(学びのたしかめ)において県と本町との平均正答率の差の合計 算数-3.7ポイント以上	目標	()	()	(数学-3.7ポイント)	()	()
		実績			数学-2.6ポイント		
	・小学校 沖縄県学力到達度調査の県と本町との平均正答率の差の合計 算数-1.0ポイント以上	目標	()	(算数+6.9ポイント以上 国語+3.8ポイント以上)	()	(算数-1.0ポイント以上)	()
		実績		沖縄県学力到達度調査中止		算数1ポイント	
	・中学校 沖縄県学力到達度調査の県と本町との平均正答率の差の合計 数学+5.1ポイント以上	目標	()	(数学+1.7ポイント以上 理科+1.3ポイント以上 社会+0.1ポイント以上 英語+3.0ポイント以上)	(数学+1.7ポイント以上 理科+1.3ポイント以上 英語+3.0ポイント以上)	(数学+5.1ポイント以上)	()
実績			沖縄県学力到達度調査中止	数学-0.1ポイント 理科 実施なし 英語-2.2ポイント	数学-0.2ポイント		

進捗状況説明	<p>県と本町との平均正答率の差の合計を指標としたところ、小学校については算数1ポイントとなり、目標を達成することができた。中学校については数学が-0.2ポイントとなり、目標を達成することができなかった。</p>
--------	--

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・小学校については目標を達成する事ができたが、中学校については目標を大きく下回り達成することができなかった。</p> <p>・中学校について、今回の到達度テストで思考力・判断力・表現力を問う記述式問題に課題が見られたため、今以上に本町生徒の読解力向上を目指して、授業改善を行う必要がある。</p>	<p>・小学校については、今後も目標を達成できるよう基礎学力の向上や授業内容の工夫・改善を担当教諭と協力して行っていく必要がある。</p> <p>・中学校については、数学は習熟の程度が大きい教科といわれていることから、生徒の思考力・判断力・表現力を問う授業で、個別に支援が必要な生徒が見受けられるため、学習支援員を活用しながら基礎学力の向上や苦手分野の克服を行っていく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・今後も学習支援員の配置を行い、教員と学習支援員、教育委員会が一体となり、学力向上に取り組む。</p> <p>・学力向上のために何が必要か調査、検討し、授業力向上及び教員と学習支援員の連携強化のため研修等も行いながら、より質の高い授業が展開できるように取り組む。</p>		



資金の流し、点検項目・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○学習支援員の選定は、採用前に面接を行い、資格や教職経験等を考慮して採用しており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○学校の授業規模にあった配置を行っており、予算規模は適正である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目使途が事業目的に即しているかについては南風原町の「南風原町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例」に決められた時給を支払っており適正である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	特別支援教育支援員配置事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-エ	
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	時代の変化に対応する魅力ある 学校づくりの推進		
事業内容	通常学級で一斉指導についていけない発達障害等のある子どもに対し、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の 状況	(a) 当初予算額	68,741	68,466	88,900	93,756	106,327
		(b) 予算現額	58,310	53,054	80,292	97,468	94,086
		(c) 増減額(b-a)	-10,431	-15,412	-8,608	3,712	-12,241
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		58,310	53,054	80,292	97,468	94,086
	B. 執行済額		57,239	48,571	74,508	89,300	85,614
	うち交付金充当額		45,791	38,857	59,606	71,440	68,490
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.2%	91.6%	92.8%	91.6%	91.0%
予算の状況の説明		幼稚園・小中学校への特別支援教育支援員配置を行ったが、中途退職・中途採用があったため執行率は91.0%となった。当初で計画していた支援員の配置ができず欠員が生じた期間があったことから、第4回計画変更で12,505千円の減額を行ったのち、軽微な変更により264千円事業間流用を行ったため、予算現額が94,086千円となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	・特別支援教育支援員配置数 小学校:23人、中学校:6人、幼稚園:25人	目標	(幼稚園19名 小学校26名 中学校5名)	(幼稚園20名 小学校26名 中学校5名)	(幼稚園24名 小学校23名 中学校6名)	(幼稚園25名 小学校23名 中学校6名)	
		実績	幼稚園19名 小学校23名 中学校5名	幼稚園17名 小学校23名 中学校5名	幼稚園24名 小学校23名 中学校6名	幼稚園25名 小学校23名 中学校6名	
			目標				
			実績				
達成状況説明	小学校において、年度はじめは特別支援教育支援員の人員確保に苦慮し、目標配置数に4名届かなかったが、年度途中で何名か応募があり、最終的に目標どおりの支援員を配置することができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		92.5%	95.5%	96.5%	
			目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	特別支援教育支援員の対応についてアンケートを実施し、対象児童生徒等の保護者104名から回答を得られた。集計結果、満足度96.5%と目標を達成した。					

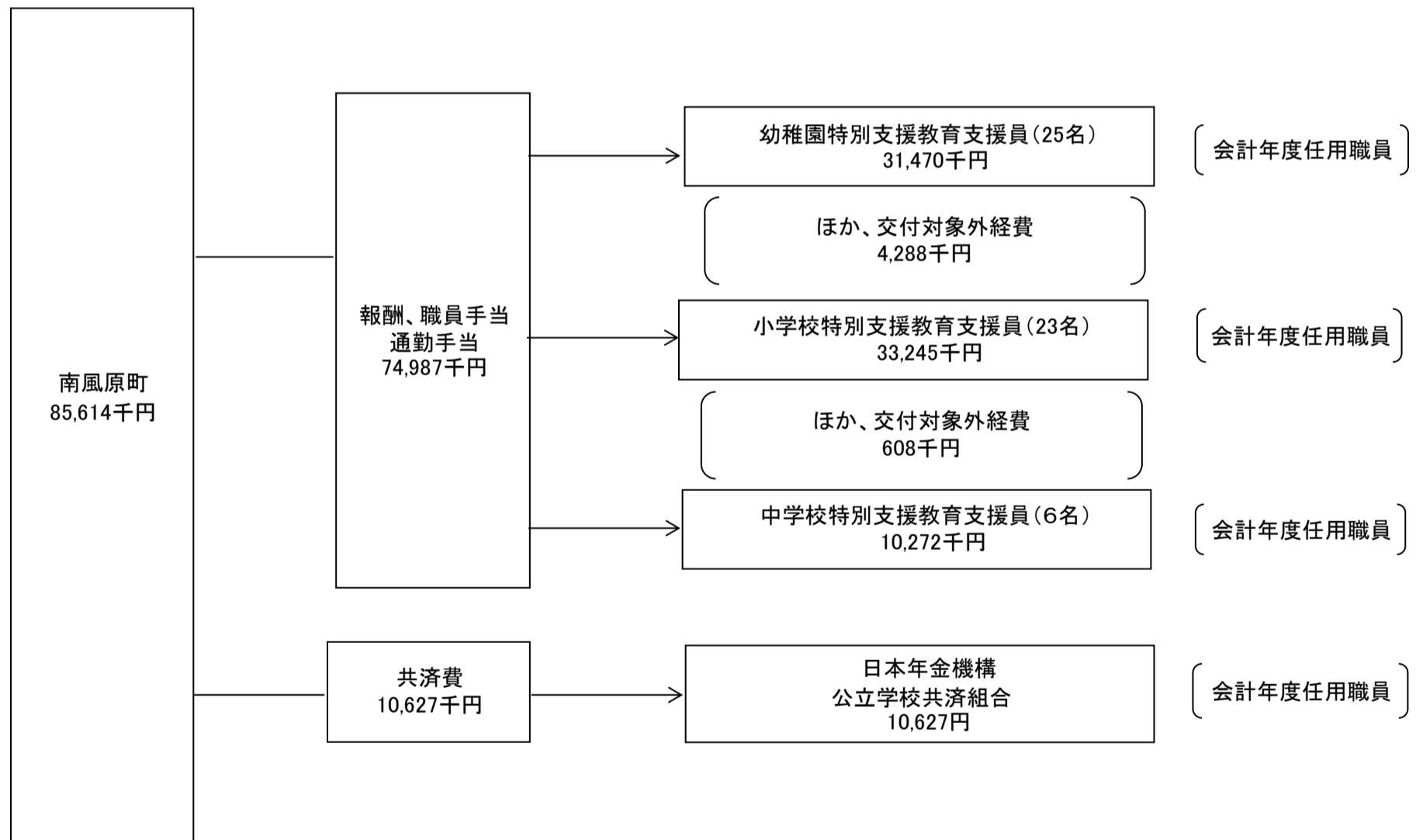
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・園児、児童、生徒数の増加に伴い特別支援教育支援員の配置申請や人員の確保が課題となっている。	・支援を必要とする園児・児童・生徒を早期に把握し、必要となる支援員の確保に努める必要がある。

今後の取り組み方針

・保育園や幼稚園、学校現場等から早めに情報提供を受け、必要となる人員の確保に努めるとともに、早期の療育に努め、個々の状態に応じた支援が行えるように取り組む。
 ・得た情報を基に特別支援教育相談員と教職員で連携しながら、効率よい特別支援教育支援員の配置に務める。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
90,510	85,614	68,490	17,124	4,896



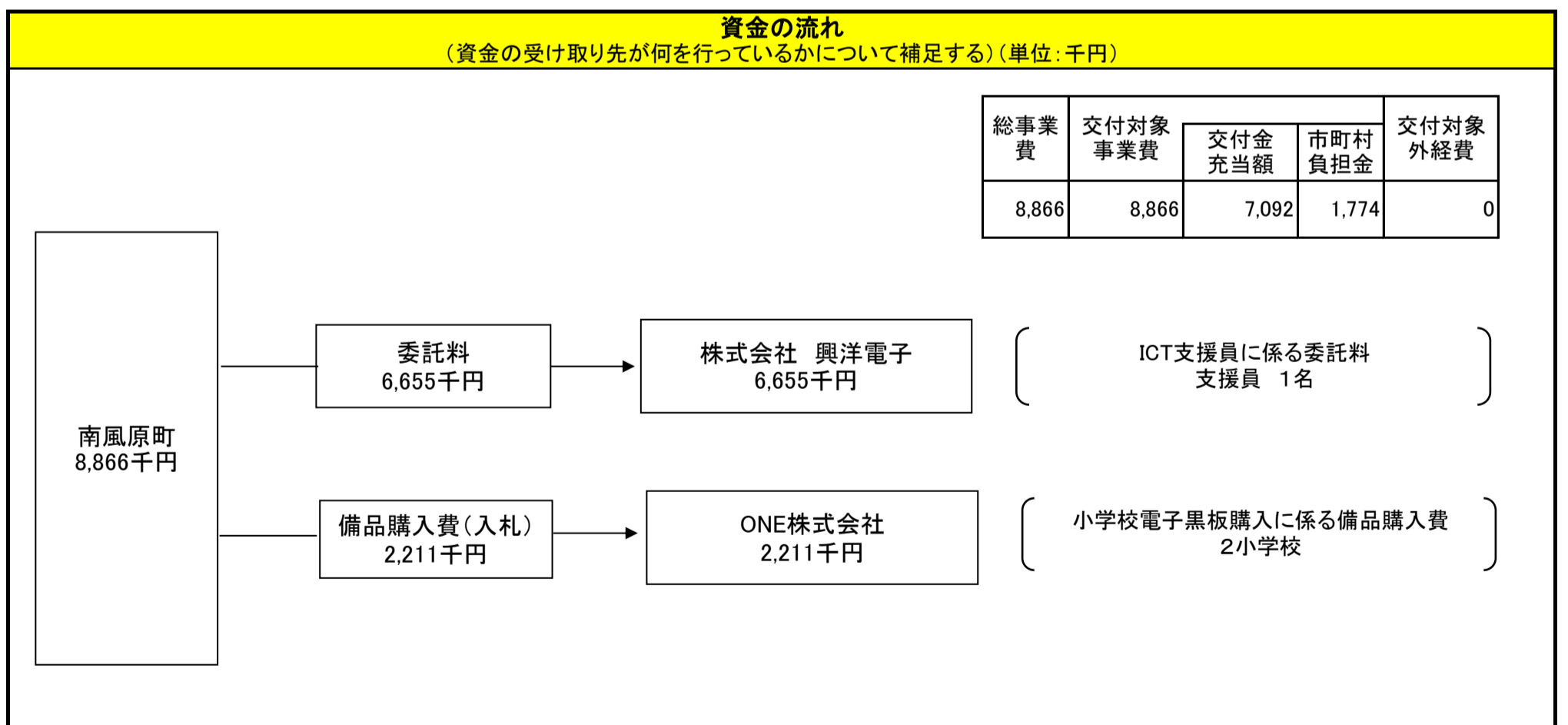
資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○特別支援教育支援員の選定は採用前に面接を行い、資格や経験等を考慮して採用しており選定方法は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○学校の授業規模にあった配置を行っており、予算規模は適正である。(各学校に必要な配置を行っており、不用額は計画どおり配置できなかったことによるものであり適正な規模であった)
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途が事業目的に即しているかについては「南風原町会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する規則」に決められた月給を支払っており適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南風原町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥ 学校ICT推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア		
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年	沖縄振興基本方針 該当箇所	確かな学力を身に付ける学校教育の充実 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	教員のICT機器の習熟や授業での効果的な活用及び学校教育の質を確保するため、ICT支援員を配置する。また、児童生徒が授業に対し、興味や集中力を高めることができるよう電子黒板の整備を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	予算の 状況	(a) 当初予算額	13,306	6,720	95,405	20,046	10,009
		(b) 予算現額	13,306	6,720	88,117	26,759	8,866
		(c) 増減額(b-a)	0	0	-7,288	6,713	-1,143
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	13,306	6,720	88,117	26,759	8,866
	B. 執行済額		13,305	6,714	85,073	25,873	8,866
	うち交付金充当額		10,644	5,371	68,059	20,698	7,092
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.9%	96.5%	96.7%	100.0%
予算の状況の説明		ICT機器を十分に活用できるようにICT支援員を小中学校に配置した。また、クラス増に伴い電子黒板一式の整備を図った。執行率は100%で当初の計画通り、事業内容を全て実施することができた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	ICT支援員を配置することによる教員のICT機器の習熟	目標	(教員のICT機器の習熟)	()	()	()	
		実績	教員のICT機器の習熟度向上				
	ICT支援員配置1名配置	目標	(1名)	(1名)	(1名)	(1名)	
		実績	1名	1名	1名	1名	
	4小学校・2中学校へタブレットPC等を整備 小学校:106教室 中学校:43教室	目標	()	(小学校:106教室 中学校:43教室)	()	()	
		実績		小学校:106教室 中学校:43教室			
	タブレットPC等を整備できていない教室への整備	目標	()	()	(小学校:10教室 中学校:9教室)	()	
		実績			小学校:10教室 中学校:9教室		
	クラス増となった教室へ電子黒板の整備	目標	()	()	(小学校:1教室 中学校:6教室)	(小学校:3教室)	
		実績			小学校:1教室 中学校:6教室	小学校:3教室	
達成状況説明		ICT支援員を計画通り配置することができた。また、クラス増となった教室へ電子黒板一式の整備を行い、授業に対する興味や集中力を高めることができた。					

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	①教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:80%以上	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		94.68%	93.18%	94.06%	
	②・児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合:80%以上	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
実績			73.15%	89.14%	91.37%		
進捗状況説明	<p>成果目標①では、3月に教員にアンケートを実施した。その結果、94.06%が習熟度が上がったと答え、目標を達成することができた。また、ICT支援員を継続して配置していることで、電子黒板などのICT機器の活用技術が向上しており、わかりやすく魅力ある授業が実施でき、教育の質の向上に繋げることができた。オンライン配信なども日常で行われており、ICT機器の習熟度が上がったことで、教育環境の幅を広げることができた。</p> <p>成果目標②においては、3月に児童生徒に対しランダムで抽出を行いアンケートを実施した。その結果、91.37%が電子黒板等を整備したことで授業が楽しく分かりやすかったと答えており、目標を達成することができた。</p>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>(ICT支援員を配置することによる教員のICT機器の習熟) ICT支援員を配置したことにより、教員による学校ICT機器の活用を積極的に行えることができた。また、コロナ禍の影響もあり、オンラインを活用した授業や学習、行事などが頻繁に行われるようになった。教員のスキルが向上したことで、児童・生徒への学びの保障や学習の幅を広げることに繋がった。</p> <p>(電子黒板等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合) 成果目標である「電子黒板等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合:80%以上」とした、アンケート調査では91.37%の結果となり、目標の80%以上を大きく超えることができた。コロナ禍においても学びの保障を確保するため、積極的に電子黒板等のICT機器を活用したことで、教員のスキルが向上し、楽しく分かりやすい授業ができた結果ではないかと考える。</p>	<p>(ICT支援員を配置することによる教員のICT機器の習熟) 継続してICT支援員を配置していることで、教員の授業の幅が広がり、また近年のコロナ禍の影響もあることで、オンラインを活用した授業などを積極的に実施するなど、ICT機器の活用スキルが全体的に向上している。引き続き成果目標を80%以上と設定し、更なるICT機器の活用ができるよう、様々な事例などを紹介し教員の習熟度向上へと繋げていく。</p> <p>(電子黒板等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合) 今後も、成果目標の達成ができるように、様々な授業方法を取り入れ、マンネリ化させることなく児童生徒が集中して授業を受けることができる環境を提供していく。</p>

今後の取り組み方針	
<p>(ICT支援員を配置することによる教員のICT機器の習熟) ICT支援員との情報共有を行い、様々な事例などを共有し、更なるICT機器の活用を図っていく。また、学校内での全体研修はもちろんのこと、少人数単位の研修も行いICTが苦手な教員や経験が浅い教員などに対し、集中的に研修を行うことで全体でのICT機器の習熟度向上に繋げていく。</p> <p>(電子黒板等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合) コロナ禍の影響により、オンライン授業や学習を行うなど、授業スタイルが大きく変化した時期もあったが、今後もオンラインの活用は継続して行われていくと考える。電子黒板などのICT機器の利活用は児童生徒に人気であり、魅力ある授業をするうえでは必要不可欠となっている。今後も引き続き、児童生徒を惹きつける授業が行えるよう様々な方法を研究し、楽しく分かりやすい授業環境を提供していきけるよう努めていく。</p>	

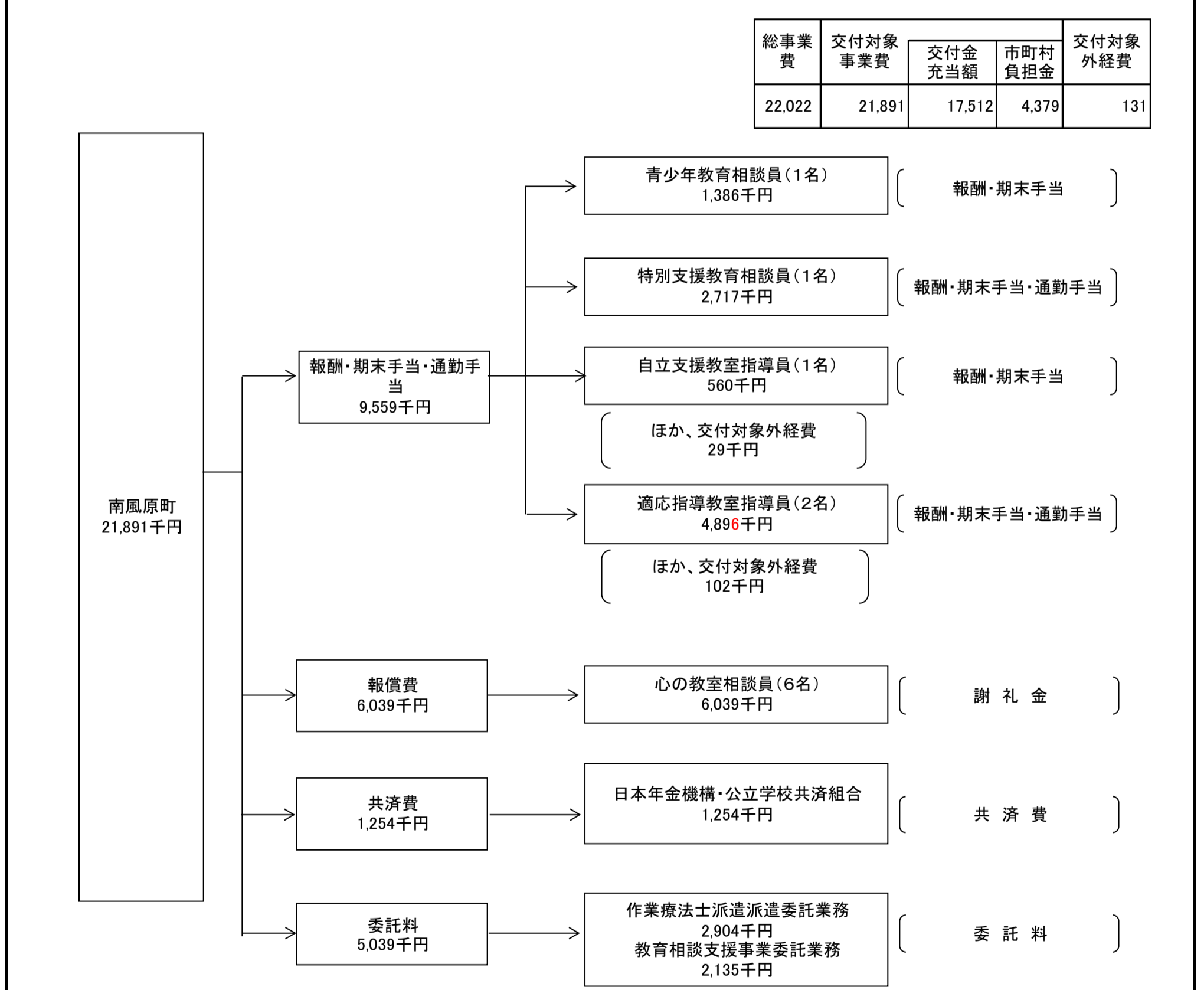


資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ICT支援員委託事業はプロポーザル方式で選定を行っており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○小学校電子黒板購入事業は指名競争入札を行ったことから妥当であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○各事業に係る予算が適正に積算されており、予算規模は適正な規模であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については各事業における必要経費であり、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	南風原町							
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑦ 教育相談支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-イ			
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心と健やかな体を育む学校教育の推進			
事業内容	不登校児童生徒数の改善を図るため、青少年教育相談員、特別支援教育相談員、自立支援教室支援員、適応指導教室学習支援員、心の教室相談員を配置した。また作業療法士を派遣し児童生徒の多様性に対応した学習環境を構築し、Q-Uテストを実施し不登校の未然防止に取り組む。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)	(a) 当初予算額	16,143	16,143	19,629	24,301	27,878	
		(b) 予算現額	15,823	16,143	19,290	24,301	23,791	
		(c) 増減額(b-a)	-320	0	-339	0	-4,087	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
		A. 計(b+d)	15,823	16,143	19,290	24,301	23,791	
	B. 執行済額		15,853	15,495	19,379	22,070	22,022	
	うち交付金充当額		12,682	12,396	15,503	17,656	17,512	
	次年度繰越額		0	0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.2%	96.0%	100.5%	90.8%	92.6%	
予算の状況の説明		執行率は前年度比1.8UPの92.6%となった。また作業療法士派遣委託業務においても前年度比40回増の132日の訪問を実施する事ができた。しかし自立支援教室相談員1名の欠員と、心の教室指導員1名の年度途中による欠員に伴い、交付対象外経費が発生した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	・青少年教育相談員 1名配置 ・特別支援教育相談員 1名配置 ・自立支援教室支援員 2名配置 ・適応指導教室学習支援員 2名配置 ・心の教室相談員 6名配置		目標	(配置)	(配置)	(配置)	(配置)	
			実績	配置	配置	配置	配置	
	・作業療法士の派遣 66日 ・教育相談支援事業(hyper-QU)		目標	()	()	(66日)	(66日)	
		実績			92日	132日		
達成状況説明	町内の小中学校に青少年教育相談員1名、特別支援教育相談員1名、自立支援教室支援員1名、適応指導教室学習支援員2名、心の教室相談員6名を配置し、不登校児童生徒及び保護者の相談等の支援を行うことが出来た。また学校等へも作業療法士を派遣し、児童生徒の多様性に対応した学習環境を構築し、Q-Uテストを実施し不登校の未然防止に取り組んだ。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	不登校児童生徒復帰率:22.8%以上		目標	()	(26.5%)	(22.8%)	(22.8%)	()
			実績		25.0%	18.4%	6.3%	
	【参考指標】不登校児童生徒復帰率(全国)		目標	()	()	()	()	()
			実績		22.8%	28.0%	27.8%	
進捗状況説明	不登校児童生徒復帰率については目標値を下回っているが、これまでの支援に加え作業療法士を派遣し、児童生徒の多様性に対応した学習環境を構築しQ-Uテストを実施する事で不登校の未然防止に取り組んだ。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・不登校児童生徒に対して早期の療育に取り組んでいるが、不登校児童生徒数は増える傾向にある。要因としては、生活リズムの乱れによる影響が考えられるため、作業療法士を派遣し、児童生徒の多様性に対応した、学習環境を更に構築する必要がある。またQ-Uテストを実施し、キャリアステージに即し不登校対策に取り組む必要がある。</p>	<p>・質の向上を図るため支援員等の研修を実施し、Q-Uテストの活用を分析しキャリアステージに即した対応を調査研究する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・学校と行政が連携するとともに教育相談等の充実を図り、継続して作業療法士を派遣し、Q-Uテストを活用して不登校の未然防止及び登校復帰に取り組む。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○教育相談員、特別支援教育相談員、心の教室相談員の選定は、採用前に面接を行い、資格や経験等を考慮して採用しており妥当である。</p> <p>○不用額は委託料の実績等によるものであり適正な規模であった。</p> <p>○費目使途事業目的に即しているかについては「南風原町会計年度任用職員の給与の決定及び支給等に関する規則」に決められた報酬を支払っており適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑧	中学校外国人英語指導助手配置事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア		
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	中学校に外国人英語指導助手を配置し、英語学力の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,780	3,780	4,944	5,354	5,381
		(b) 予算現額	3,780	3,780	4,944	5,354	4,986
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	-395
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	3,780	3,780	4,944	5,354	4,986
	B. 執行済額		3,721	3,435	4,879	5,209	3,572
	うち交付金充当額		2,977	2,748	3,903	4,167	2,857
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.4%	90.9%	98.7%	97.3%	71.6%
予算の状況の説明		配置していた外国人英語指導助手が年度途中(1月6日付け)で退職しており、その後、年度内での配置がなかったため執行率が71.6%になっている。予算については軽微な変更の手続きにより395千円を他事業へ流用した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	中学校に外国人英語指導助手を1名配置する。		目標 (1人)	(1人)	(1人)	(1人)	
			実績 1人	1人	1人	1人	
			目標 ()	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	年度途中(令和5年1月6日付け)で退職されたが、目標どおり外国人英語指導助手を年度当初から配置し、英語教育を展開することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 ・中学校 英語+3.0ポイント以上		目標 ()	(+3.0ポイント以上)	(+3.0ポイント以上)	()	()
			実績	+4.7ポイント	+0.85ポイント		
	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 ・中学校 英語+5.0ポイント以上		目標 ()	()	()	(+5.0ポイント以上)	()
			実績			1年:-3.9 2年:-4.6	
	進捗状況説明	目標値を1年生は-3.9ポイント、2年生は-4.6ポイントとなり目標達成には至らなかった。目標未達成の要因は、小学校英語から中学校英語に移行する際に抵抗があり、生徒が英文法や英会話などに苦手意識を持ったことが原因と考えられる。					

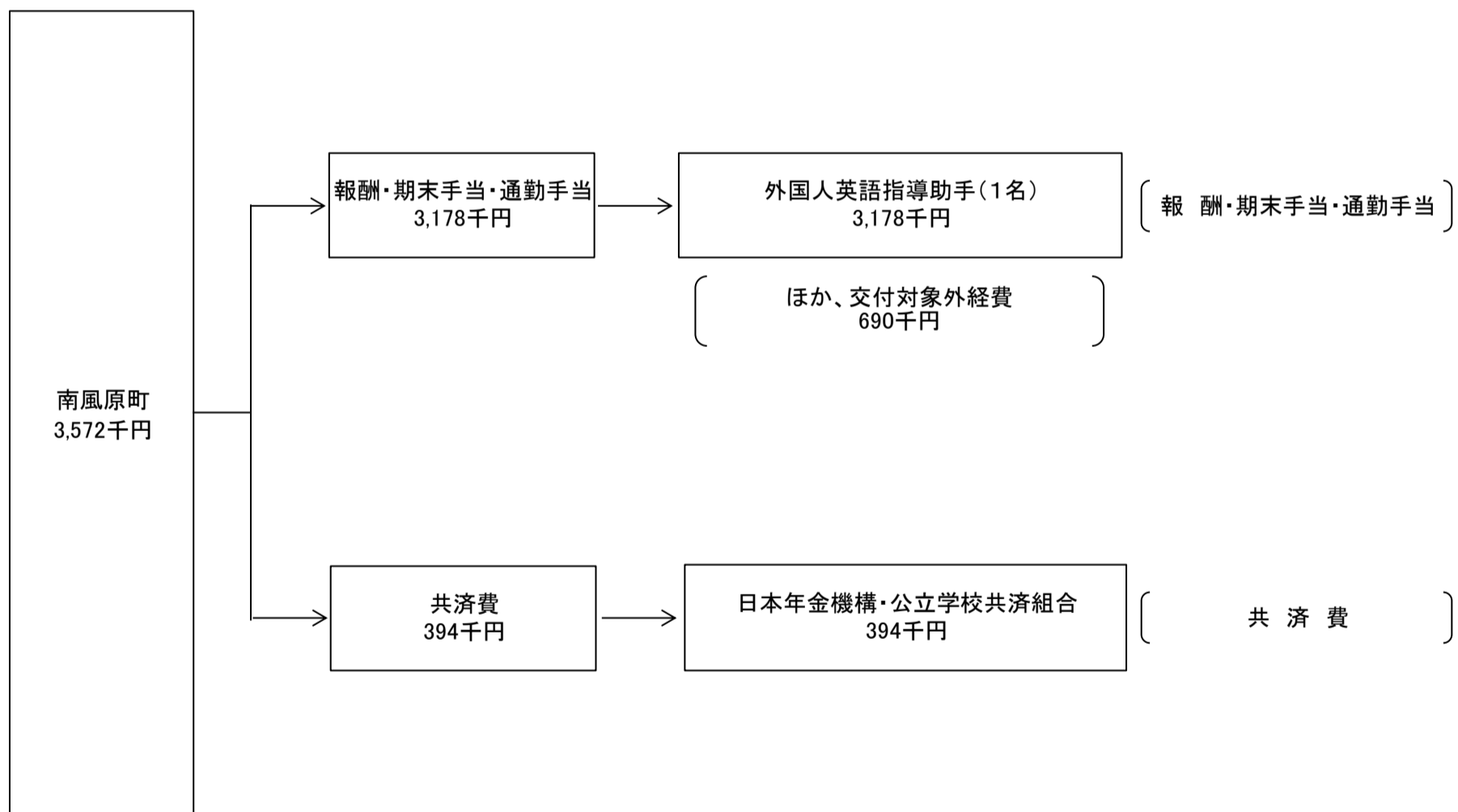
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>沖縄県学力到達度調査において本町の平均正答率が県の平均正答率より中学1年生が-3.9ポイント、2年生が-4.8ポイントだったため目標値には届かなかった。目標値に至らなかった要因としては、1年生が問題英文の穴埋めにおいて文脈に応じ適切な語句を選択して、正しい代名詞の所有格を用いて正確に書くことができなかったため。2年生がまとまりのある英文章を読んで、自分の意見を英語で述べるができなかったためである。</p>	<p>配置先の先生と外国人英語指導助手で協力して授業の工夫・改善を行っていき、応用分野でも苦手意識を持たないよう、英語の学力向上に努めていく。</p>

今後の取り組み方針

・基礎から応用まで幅広い英文法や単語を用いて英会話やライティングを行ったり、また英語の学習において生徒達がどの分野で苦手なのかを分析する研修等を行い、外国人英語指導助手と配置先の先生で連携強化や指導力の向上を図る。
 ・苦手意識を解消していくために、外国人英語指導助手を大いに活用して、あいさつや簡単な日常会話などを英語で行い、コミュニケーションを図っていくように努める。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,262	3,572	2,857	715	690



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○外国人英語指導助手は採用前に面接を行い、資格や経験等を考慮して採用しており選定方法は妥当である。 ○予算規模について不用額はなく、適正な規模であった。 ○費目使途が事業目的に即しているかについては南風原町の「南風原町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例」に決められた給与を支払っており適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑨ 南風原町県外等派遣支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ウ		
担当部課名	教育部 生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	個性を伸ばし、自立に向けた資質・能力を伸ばす教育の推進		
事業内容	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が運動競技及び文化活動参加のため県外や国外へ派遣される場合に必要派遣費用の支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,976	2,976	2,976	2,976	2,512
		(b) 予算現額	2,976	2,976	976	2,000	1,269
		(c) 増減額(b-a)	0	0	-2,000	-976	-1,243
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)		2,976	2,976	976	2,000	1,269
	B. 執行済額		2,406	1,893	273	984	1,044
	うち交付金充当額		1,924	1,514	218	787	835
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		80.8%	63.6%	28.0%	49.2%	82.3%
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染拡大の影響で、大会延期や中止等が一部あり、派遣人数が伸びず1,243千円減額補正した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	児童・生徒及び青年会等大会派遣の支援	目標	(派遣の支援)				
		実績	派遣費用支援の実施				
	児童・生徒及び青年会等大会派遣の支援数	目標	() (50名) (80名) (140名)				
実績			25名	80名	76名		
達成状況説明	地方大会3種目、九州大会9種目、全国大会7種目、延べ76人の児童・生徒に対し、運動競技や文化活動等の大会派遣に係る費用の支援ができた。 新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、前年度より大会が多く実施され、申請件数は20件から28件と増加したが、派遣人数は目標値に届かなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	対象児童等の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者等に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	目標	() (80%以上) (80%以上) (80%以上) ()				
		実績		88%	84%	87.7%	
		目標	() () () () ()				
		実績					
進捗状況説明	派遣人数は76人で、アンケートの結果によると「参加後、広い視野を持つ事ができた」と回答した児童生徒は90.4%、保護者は84.2%、全体で87.7%となり、目標値を達成できた。 また、「参加後、競技に対する意欲が向上した」と回答した児童生徒は90.4%、保護者は89.5%、全体で90%となり、「県外の高いレベルに触れる事で課題も見え、今後の練習につなげたい」、「更なる目標が出来た」といった声が多く、成果を感じる。						

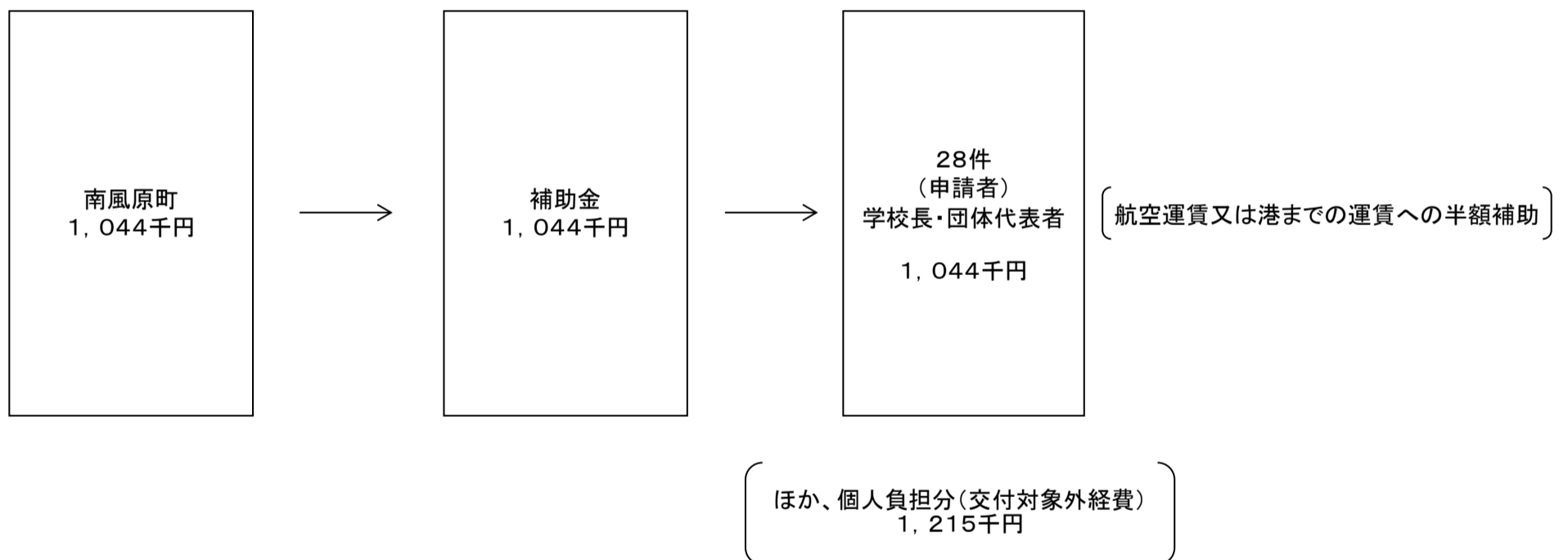
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、前年度より大会が多く実施され、申請件数は20件から28件と増加したが、派遣人数は目標値に届かなかった。 ・交付要綱上、大会等の7日前までに助成金の交付申請を行わなければならないが、申請が遅れたため、認められなかった事例があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援事業の周知については学校と密に連携をとり、更なる広報活動に努める。 ・事務手続きにおいては、提出書類が多く不備等も見受けられるので、チェックリストや記入例を配布するなど配慮する。

今後の取り組み方針

- ・学校や町広報誌、ホームページ等で事業の周知を行い、早めの申請を促す。
- ・申請件数と予算の執行状況を随時確認し、事業の進捗に合わせた補正予算や変更交付申請手続きを行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
2,258	1,044	835	209	1,214



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○派遣対象者については、南風原町県外派遣に関する助成金交付要綱に照らして決定しており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○支援金額については普通運賃額を超えないように比較し、適正に金額を決定している。予算の規模も適正であり、要綱に基づき必要なものに限定して交付している。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者の負担も要綱に基づき実施しており、妥当であったと考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○事業達成に必要な分の金額のみを支出し、妥当な金額で実施している。

市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑩	南風原町幼稚園体育活動充実事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-イ	
担当部課名	教育部 教育総務課	事業実施 (予定)年度	平成28～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	豊かな心と健やかな体を育む学校教育の推進		
事業内容	幼少期に運動する楽しさを実感してもらい、その後の運動習慣を身に付けられるよう、幼稚園児を対象に専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,711	1,729	1,743	1,798	1,895
		(b) 予算現額	1,711	1,729	1,549	1,798	1,895
		(c) 増減額(b-a)	0	0	-194	0	0
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		1,711	1,729	1,549	1,798	1,895
	B. 執行済額		1710	1728	1548	1,718	1,779
	うち交付金充当額		1368	1382	1239	1,374	1,422
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		99.9%	99.9%	99.9%	95.6%	93.9%
予算の状況の説明		当初計画通り、プロポーザルにより業者を選定し、事業を執行する事ができた。不用額116千円については、入札残及び委託業者が新型コロナウイルス感染症の影響による業務休止のため。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	町内4幼稚園での専門的な体育指導の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	町立4幼稚園で専門講師による体育指導を行い、各園5歳児27回、4歳児9回実施することができた。ただし、委託業者が新型コロナウイルス感染症の影響による業務休止があり、教諭への講習(座学×1回、実技×4回)が実施できなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
		目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
	実績			98.31%	93.14%	94.12%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	運動する楽しさについて、園児340人中320人が体育遊びが好きと回答し(94.12%)、目標を上回る結果となった。保護者へのアンケートでは95.09%の保護者が運動能力が上がったと実感しており、99.07%の保護者が本事業は良い取り組みだと回答を得た。このことから、本事業は保護者や園児からも高い評価を得ており、あり方についても評価されている。					

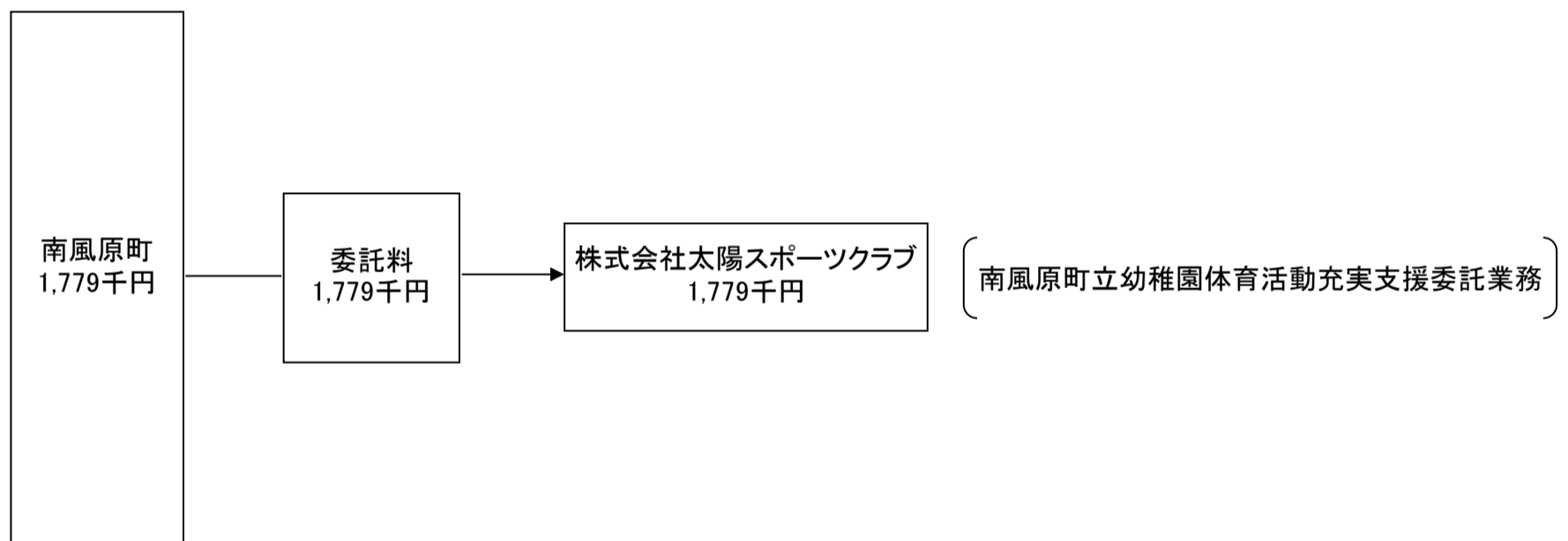
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>運動する楽しさを実感してもらえるように、事前に指導スケジュールや指導案等を委託業者と各園を調整を行った。事前に調整を行うことで、各園の教諭によるサポート等についても事前に計画を立てられ、園児に運動する楽しさを実感してもらえり組みとなった。前年同様、教諭への指導(座学・実技)も行ったが、委託業者が新型コロナウイルス感染症の影響による業務休止があったため、実施ができなかった日程もあった。</p>	<p>園児に運動する楽しさを実感してもらい、運動習慣を身に付けてもらうために、委託業者と各園と協力しながら取り組んでいる。現状では、運動する楽しさを実感している園児が多いというアンケート結果となっているため、改善の余地はないと考える。また、今後も教諭への指導(座学・実技)も継続して行い、今後の幼稚園体育活動がより効果的な活動となるよう取り組む。</p>

今後の取り組み方針

これまで同様、選定した専門的な知識を持つ受託事業者と各園との連携を図り、より子ども達に運動する楽しさを実感してもらえるように、調整を行いながら事業を実施していく。引き続き、幼稚園の教諭への指導も行き、今後の幼稚園体育活動がより効果的な取り組みとなるよう取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,779	1,779	1,422	357	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○地方自治法施行令に基づく随意契約(プロポーザル実施)により実施しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額117千円は入札残及び入札残及び委託業者が新型コロナウイルス感染症の影響による業務休止のためであり、適正な規模であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されており、適正であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑪ 南風原町各種大会派遣支援事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第4章-5-(2)-ウ					
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度 平成25～令和13年度 沖縄振興基本方針該当箇所 個性を伸ばし、自立に向けた資質・能力を伸ばす教育の推進 Ⅲ-3-(2)					
事業内容	県外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、町内の小・中学校の児童生徒が、学校を代表し、中学校体育連盟等が主催する県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の大会派遣費用を支援する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,800	1,200		1,200	1,200
		(b) 予算現額	605	1,200		1,200	1,273
		(c) 増減額(b-a)	▲1,195	0		0	73
		(d) 繰越額	—	—		—	—
		A. 計(b+d)	605	1,200		1,200	1,273
		B. 執行済額	604	732		1,135	1,272
		うち交付金充当額	483	586		908	1,017
		次年度繰越額	0	0		0	0
		執行率(%) (B/A)	99.8%	61.0%		94.6%	99.9%
予算の状況の説明	県外大会に参加する生徒に対し、派遣費の一部を補助した。九州中学校バレーボール大会に参加予定の生徒の一部が新型コロナウイルス感染により派遣することが出来ず計画していた人数よりも下回ったが、予算を減額及び軽微な変更により他事業からの流用により計画通り執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	児童生徒の大会派遣の支援	目標	(派遣費補助)	()	(35名)	(36名)	
		実績	派遣費補助の実施		延べ53名	延べ50名	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	運動競技大会及び文化関係大会に県代表として九州大会5種目、全国大会2種目に延べ50人(実人数36人)の生徒を派遣することの支援ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	保護者アンケートで児童生徒の視野が広がったと実感した割合:80%以上)	目標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績			100%	100%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	本事業のあり方を検証するため保護者に対してアンケートを実施し、36名からの回答を集計した結果、全保護者から視野が広がるなど成長するうえでいい機会であるとの回答が得られた。また、夢や目標を持つようになったなどの変化があったとの回答が多数あった。						

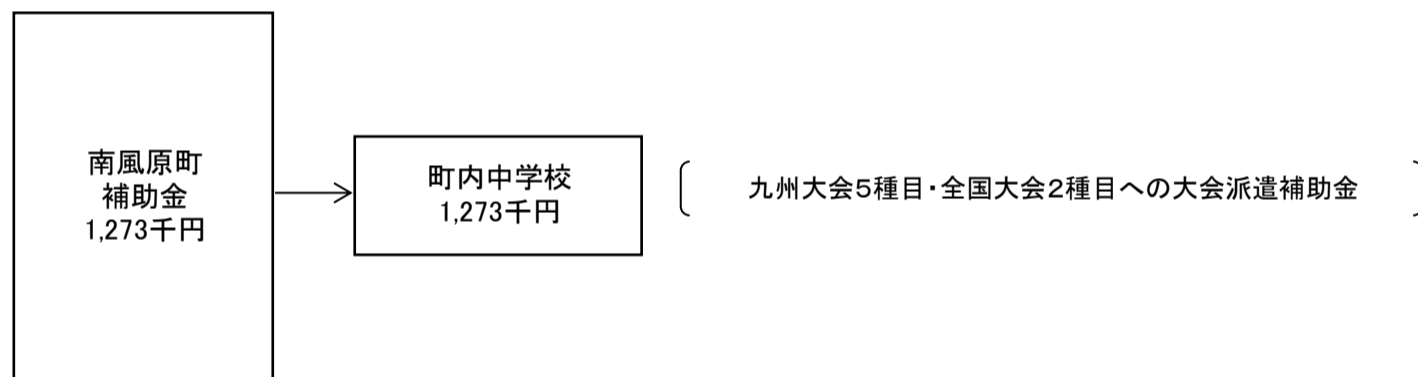
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・学校と密に連携をとり補助対象の児童・生徒の把握に努めたことで新型コロナウイルス感染によりやむを得ず急遽参加ができなかった生徒以外の全対象者へ支援することができた。</p>	<p>・補助対象の児童生徒全員への支援については、本制度の周知と学校と密に連携をとることでうまく事業を推進できているので、改善の必要はないものと考えられる。</p>

今後の取り組み方針

・引き続き学校へ本制度の周知を行い、学校と密に連携をとることで対象となる児童生徒の把握に努め、補助対象の児童・生徒全員への支援に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,544	1,272	1,017	255	1,272



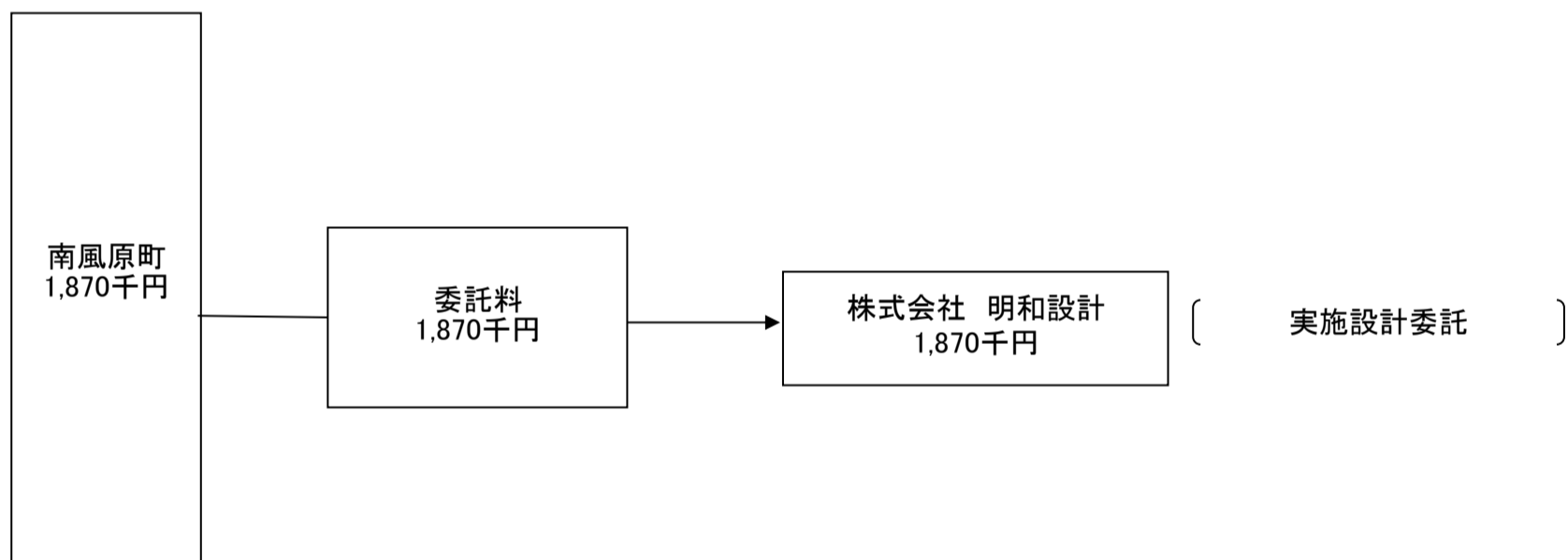
資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法は、派遣費補助の取り扱い基準に基づき執行しており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、本事業の完遂に必要な費用に限られており、適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係については、派遣費補助の取り扱い基準に基づき執行しており適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-12 南風原町学校プール日よけ設置事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第4章-5-(2)-(エ) 時代の変化に対応する魅力ある学校づくりの推進					
担当部課名	教育総務課	事業実施(予定)年度 令和4~令和5年度 沖縄振興基本方針該当箇所 III-3-(1)					
事業内容	プール授業において児童生徒が安全に授業を行うことができるよう、熱中症対策のために日よけ設備の設置を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(5年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,179				
		(b) 予算現額	1,870				
		(c) 増減額(b-a)	-309	0	0	0	
		(d) 繰越額	0				
		A. 計(b+d)	1,870	0	0	0	
	B. 執行済額		1,870				
	うち交付金充当額		1,496				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		令和4年度に実施設計を完了させた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	実施設計の完了	目標	(実施設計の完了)	()	()		
		実績	実施設計の完了				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	令和4年度に実施設計を完了させた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(5年度)
	【令和4年度】 設計業務を完了する。	目標	()	(実施設計の完了)	()	()	()
		実績		実施設計の完了			
	【令和5年度】 日よけ設備の設置により、整備箇所において熱中症者0人。	目標	()	()	()	()	(0人)
		実績					
	進捗状況説明	令和4年度に実施設計を完了させており、令和5年度に設置工事を行う。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	令和5年度は施設内の整備となるため、学校の授業や行事に支障のないよう事業を行う必要がある。	今後は、学校と協力して適正な管理が行われるように努める。
今後の取り組み方針		
令和5年度は設内の整備となるため、学校の授業や行事に支障のないよう事業を行う必要がある。学校と協力して適正な管理が行われるように努める。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,870	1,870	1,496	374	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については不用額が発生していないことから、適正な規模であったと考えている。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	南風原町観光景観美化整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-ウ	
担当部課名	経済建設部 まちづくり振興課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	人と環境に優しいまちづくりの推進 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	沖縄らしい風景を保持するため、道路及び公園の草刈りや樹木の剪定を行い魅力的な観光地としての景観形成を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,782	6,782	34,482	45,288	30,159
		(b) 予算現額	6,782	12,720	42,462	35,925	30,536
		(c) 増減額(b-a)	0	5,938	7,980	-9,363	377
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	6,782	12,720	42,462	35,925	30,536
	B. 執行済額		6,650	13,492	42,417	35,187	29,012
	うち交付金充当額		5,320	10,794	33,933	28,149	23,209
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.1%	106.1%	99.9%	97.9%	95.0%
予算の状況の説明		・観光ルートの美化整備は14人で行うなど予算は計画通り執行し、事業を円滑に行う事ができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	観光ルートの町道メンテナンス完了	目標	(18,400m)	(18,400m)	(18,400m)	(18,400m)	
		実績	18,400m	18,400m	18,400m	18,400m	
	公園6箇所の景観美化完了	目標	(公園6箇所)	(公園6箇所)	(公園6箇所)	(公園6箇所)	
		実績	公園6箇所	公園6箇所	公園6箇所	公園6箇所	
	フクギ並木の擁壁整備完了	目標	(L=40m)	(整備完了)	()	()	
		実績	L=40m	整備完了			
	フクギ並木通りの実施設計完了	目標	()	(実施設計完了)	()	()	
		実績		実施設計完了			
フクギ並木通りの整備完了	目標	()	()	(整備完了)	()		
	実績			整備完了			
達成状況説明	・景観美化作業員を14人雇用し、町道(18,400m)、公園(6箇所)、メンテナンス(草木の伐採等による景観美化の管理)を行うことで、沖縄らしい景観を保持し観光に貢献することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		86%	92%	81%	
		目標	()	()	()	()	()
実績							

進捗状況説明	・道路美化に関するアンケートを行った結果、景観形成が図られたと思う割合が80%以上となっており、目標を達成する事ができた。
--------	---

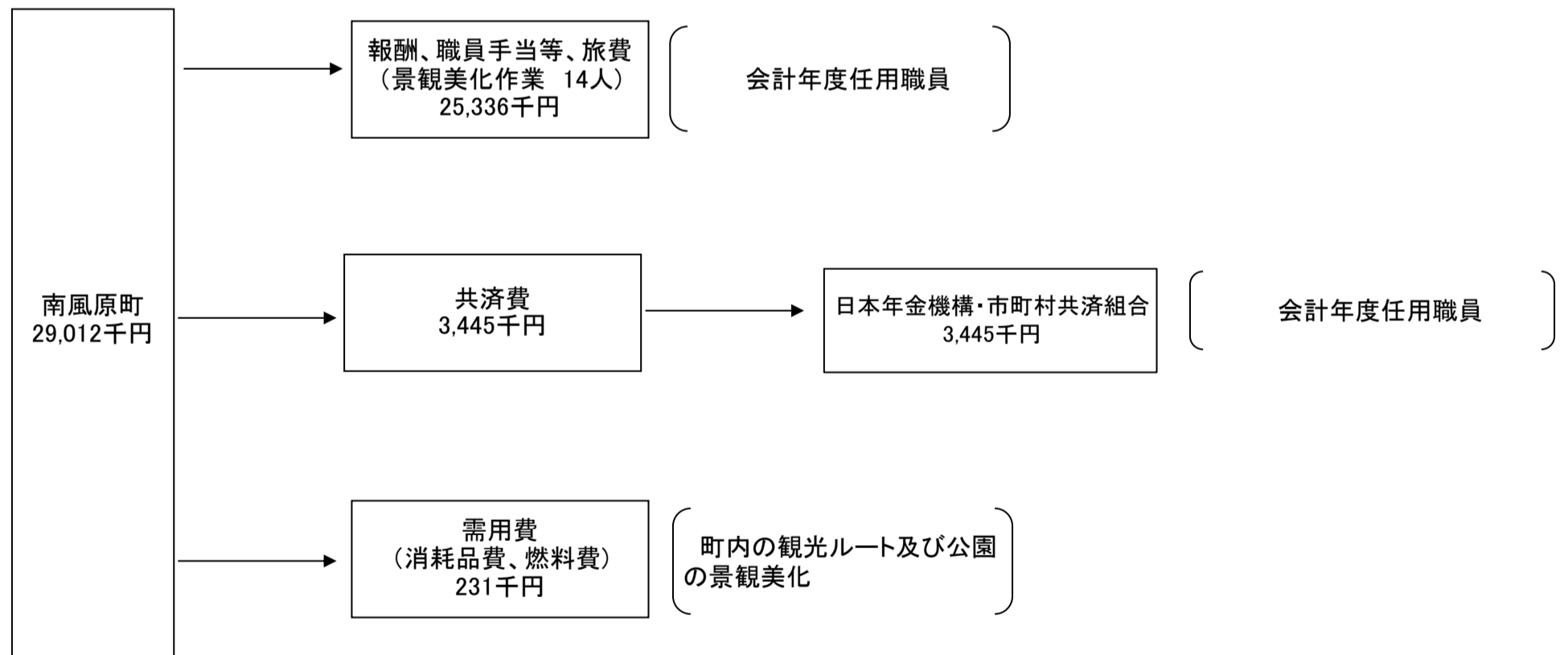
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・目標である80%を達成できたが、今後もこの数値を維持できるよう検討していく必要がある。肯定的な回答が80%もある事から本事業は魅力的な観光地としての景観形成に一定の効果を上げているものとする。	・効果的に環境整備や景観保全が行えるよう、施設内の点検を強化し、事前に整備対象となる箇所を確認する。また、効率的な環境整備や景観保全を行えるように努める。

今後の取り組み方針

・施設内の点検回数を増やす事や、効率的に芝刈り、樹木剪定、雑草の除草等を行うことで、魅力的な観光地としての景観形成に取り組む。また、アンケートの満足度を維持するために、利用者の意見等を受け、景観形成向上に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
29,012	29,012	23,209	5,803	0



資金の流 れ、費目 点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先である景観美化作業員は、町の基準で選定雇用しており妥当だと考えている。 ○予算規模は町の基準で積算されており適正と考える。 ○費目・用途については、額の確定時において事業目的達成の観点から必要なものなのか等について書類により確認し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

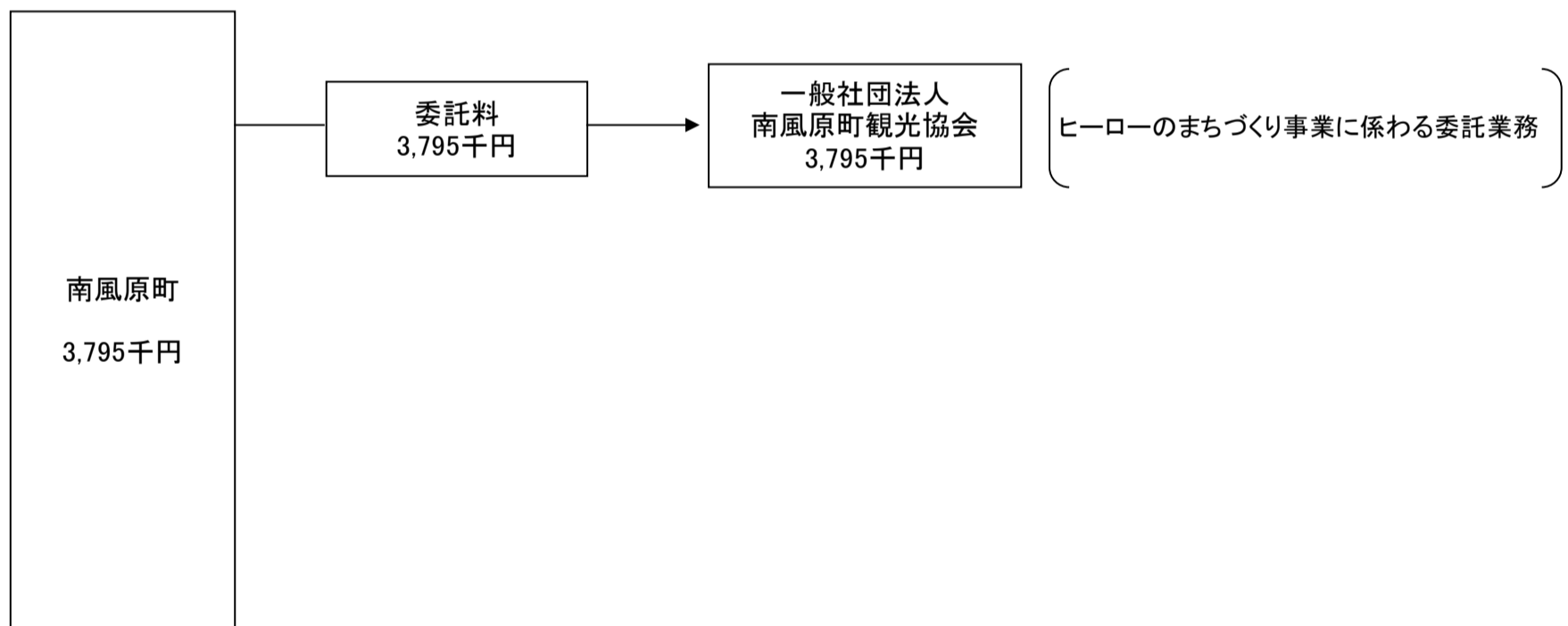
市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	ヒーローのまちづくり事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部課名	経済建設部 産業振興課	事業実施 (予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	本町の観光振興及び地域活性化のため、南風原町が輩出した多彩な人材の功績や経歴、所有品等の観光情報発信イベントなどを定期的に行い、観光客を本町へ誘導する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,310	7,440	7,436	7,436	7,436
		(b) 予算現額	7,310	7,440	7,436	7,436	5,467
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	-1,969
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	7,310	7,440	7,436	7,436	5,467
	B. 執行済額		7,213	6,699	7,348	7,348	3,795
	うち交付金充当額		5,770	5,359	5,878	5,878	3,036
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.7%	90.0%	98.8%	98.8%	69.4%
予算の状況の説明		当初計画していた事業は新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施することができたが、育休に入った職員の代替人員が見つからず、執行額は減となっているが活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	イベント開催:1回	目標	(1回)	(1回)	(1回)	(1回)	
		実績	4回	3回	2回	4回	
	脚本賞舞台化:1回	目標	(1回)	(1回)	(1回)	(1回)	
実績		0回(中止)	1回	1回	1回		
達成状況説明	「イベント開催」については、前年中止した飛び安里凧上げ大会等、各イベントを新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施することができた。 また金城哲夫展は町商工会イベントと同時開催することで来場者増を図った。 「ヒーローを題材にした舞台化」は新型コロナウイルス感染症対策を行い実施した。また、劇の内容を収録し、YouTubeにて後日配信を行った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	イベント(上映会、凧上げ、金城哲夫展等)来客者数:3,250人	目標	()	(3,250人)	(3,250人)	(3,250人)	()
		実績		11,210人	1,136人	3,117人	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	イベント(上映会、凧上げ、金城哲夫展等)来客者数について、前年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響に中止していた凧あげ大会開催(200人)、屋外イベント(306人、YouTube収録配信1,380、計1,686)を開催した。金城哲夫展は町商工会のイベントである商工フェア内で開催し、250人の来客があった。 舞台は来場者555人(2日間開催)、収録配信視聴者426人で計981人となった。 以上総合計で3,117人となり、目標には届かなかった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響が年度後半まで続き、イベント開催時期の変更を余儀なくされず、またその後も出控えや寒波の影響でイベント参加者が少なく、イベント来客者数の目標人数に届かなかった。 国内向けに、金城哲夫氏のリーフレット等を作成してきたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響も少なくなりインバウンドも増えていることから、その対策も必要となってくる。 	<ul style="list-style-type: none"> イベント開催について感染症等の状況も含め、効果的な時期を再検討し、イベントの集客に努める。 これまでの国内向けリーフレット等(日本語)を外国人に対応する必要がある。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> イベント開催時期を真夏や真冬でなく10月など過ごしやすい時期に開催する。 金城哲夫氏のリーフレットについて英語版を作成し、南風原町観光協会のホームページ等でPDF化したものを掲載する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,795	3,795	3,036	759	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○来訪者への観光案内や誘客を目的として設立された団体であること、及び観光の情報発信は何よりも新鮮な情報の提供が求められ、観光客のニーズを集約できる唯一の団体であることから、観光協会へ随意契約を行っている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業内容に基づく事業執行を行い、また支出先の選定は、上記説明のとおり妥当であると判断していることから予算規模は適正であると判断する。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、額の確定時において事業目的達成の観点から必要なものなのか等について書類により確認し、適正であった。

市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	シマじまガイド事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部課名	経済建設部 産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	訪問客に南風原町の魅力を知っていただくため、着地型観光メニューとして「シマじまガイド」(名所案内巡り)を実施し、町内外からの観光客等を受け入れるシステムを構築し、観光振興を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額	A. 計(b+d)	10,448	10,521	10,516	10,516	10,516
		B. 執行済額	9,873	8,096	8,492	7,964	8,294
		うち交付金充当額	7,898	6,476	6,793	6,371	6,635
		次年度繰越額	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	94.5%	77.0%	80.8%	75.7%	78.9%	
	予算の状況の説明	当初計画していた事業は新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施することができたが、前半に実施予定していたガイド事業は全て行うことができなかった。 職員の採用ができず、執行額は減となっているが活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
	活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況				
				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		ガイド養成新規2名	目標	(2名)	(2名)	(2名)	(2名)
実績			4名	2名	2名	5名	
シマじまガイド開催12回		目標	(12回)	(12回)	(12回)	(12回)	
		実績	12回	4回	11回	7回	
達成状況説明	・地域ガイド研修を6回開催しガイドのスキルアップを図った。その結果5人の新規のガイド養成を行うことができた。 ・シマじまガイドは新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、数回の延期・中止に追い込まれたうえ、一部職員の採用が出来ず7回しか開催できなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	シマじまガイド事業参加者:1,700人	目標	()	(1700人)	(1700人)	(1700人)	()
		実績			1,147人	149人	1,128人
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・シマじまガイド事業について、ツアー参加者85人、イベント参加者89人、オンラインでのイベント参加者954人の合計1,128人という結果になり、目標には届かなかった。					

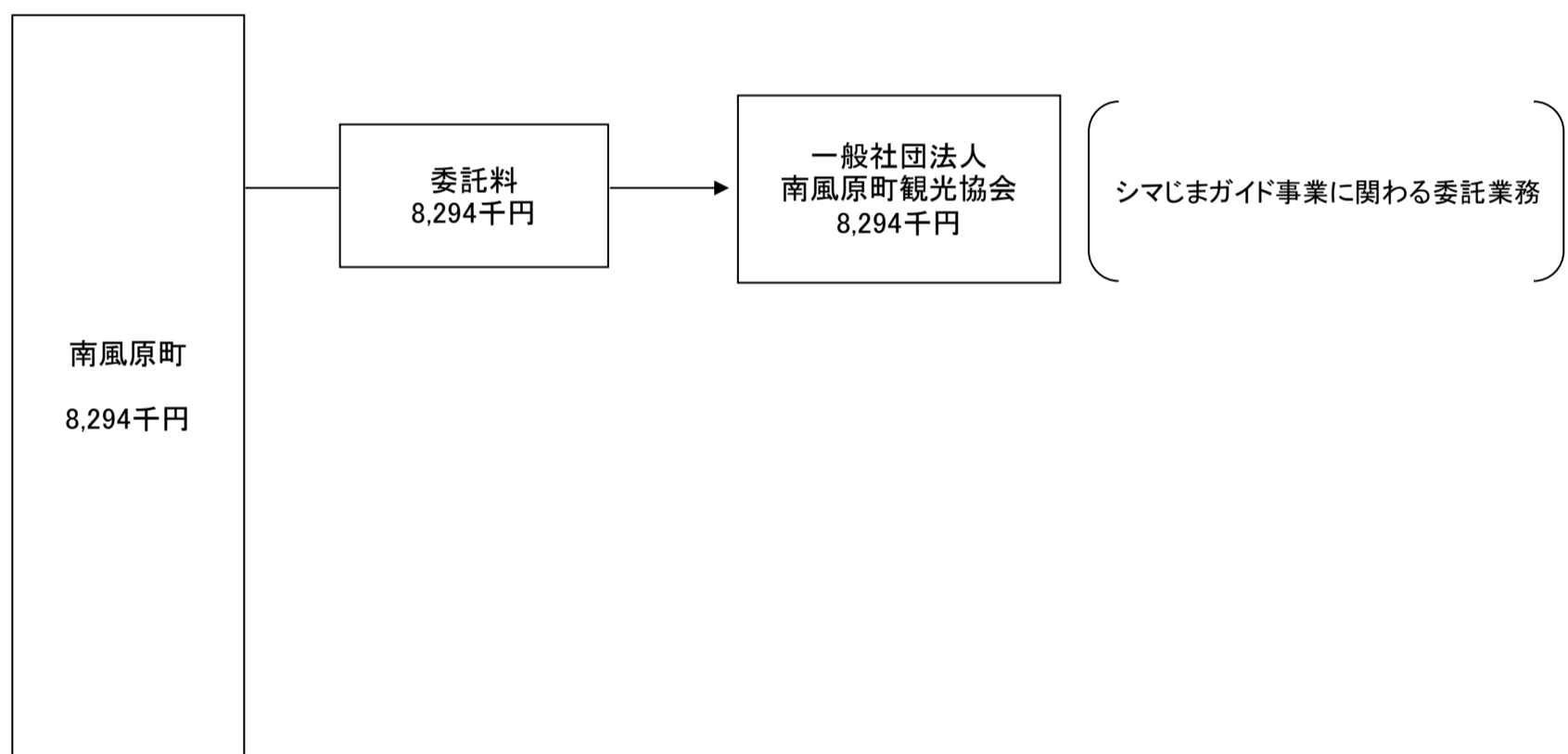
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・シマじまガイド事業は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、数回の延期・中止に追い込まれたうえ、一部職員の採用ができず目標に届かなかった。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響も少なくなりインバウンド対策の必要性が高くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏場は気温が高く熱中症のおそれがありシマじまガイドを行わず、研修事業等を行っていたが、年度末にガイド事業が重なり一部実施に至らなかったことから、暑さ対策をしながら夏開催を行う必要がある。 ・新たなガイド事業、イベントを行う必要があるため、効果的な事業について調査研究する。 ・インバウンド対策として、これまでの国内向けの動画等を外国人に対応する必要がある。

今後の取り組み方針

- ・シマじまガイドを夏開催を実施するため、夏は朝や夕方など過ごしやすい時間帯に実施する。
- ・現在は字単位のシマじまガイドだったが、全体をまとめて周遊するバスツアー等を企画・実施する。
- ・公開している動画の一部を英語版で作成し、南風原町観光協会ホームページ等で掲載する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,294	8,294	6,635	1,659	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○来訪者への観光案内や誘客を目的として設立された団体であること、及び観光の情報発信は何よりも新鮮な情報の提供が求められ、観光客のニーズを集約できる唯一の団体であることから、観光協会へ随意契約を行っている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業内容に基づく事業執行を行い、また支出先の選定は、上記説明のとおり妥当であると判断していることから予算規模は適正であると判断する。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、額の確定時において事業目的達成の観点から必要なものなのか等について書類により確認し、適正であった。

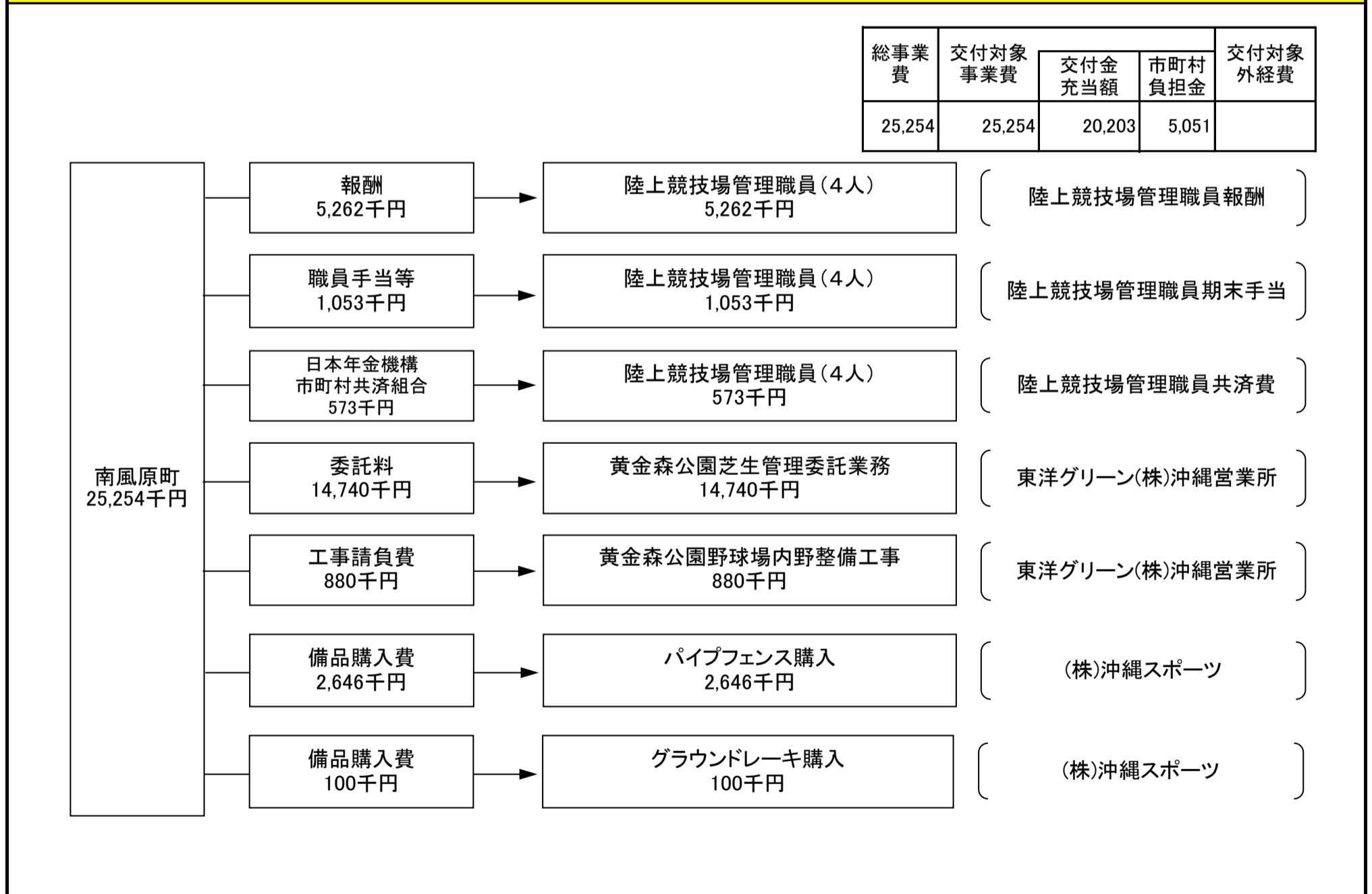
市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④ 黄金森公園スポーツ施設活性化事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア		
担当部課名	教育部 教育総務課	事業実施 (予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化		
事業内容	陸上、サッカー等合宿利用者数の増加及びJリーグキャンプ誘致による誘客を図るため、黄金森公園スポーツ施設のJリーグキャンプ受入体制等の整備を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	29,617	10,000	20,168	24,583	25,178
		(b) 予算現額	26,850	10,008	20,268	24,583	25,566
		(c) 増減額(b-a)	-2,767	8	100	0	388
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)	26,850	10,008	20,268	24,583	25,566	
	B. 執行済額	26,270	10,008	20,027	22,548	25,254	
	うち交付金充当額	21,015	8,006	16,021	18,037	20,203	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	97.8%	100.0%	98.8%	91.7%	98.8%	
予算の状況の説明	当初計画通り、管理職員の配置、黄金森公園芝生管理委託業務、備品購入業務を執行することができた。不用額312千円については、2件の入札残となっている。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	・陸上競技場及び野球場芝生の管理委託	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	一部実施	実施	実施	実施	
	・野球場内野グラウンド整備	目標	()	()	()	(実施)	
		実績				実施	
	・黄金森公園陸上競技場管理職員の配置	目標	(実施)	(4名)	(4名)	(4名)	
		実績	一部実施	4名	4名	4名	
	・スポーツ合宿受入時使用する備品購入	目標	()	()	()	(実施)	
		実績				実施	
達成状況説明	Jリーグキャンプ受入のため、練習場芝生整備を実施し、陸上競技場管理員を配置したことによりスポーツ施設が充実し、サッカーJリーグチームの春季キャンプ、ラクロスチームキャンプ、ソフトボールチームキャンプ、県外大学等の陸上競技合宿を誘致した。また、スポーツ合宿受入れ時に使用する備品を購入したことにより受け入れ体制の充実を図ることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	・陸上、サッカー等合宿利用者数:1,300人	目標	()	(1,800人)	(1,300人)	(1,300人)	()
		実績			757人	721人	1,094人
	・Jリーグキャンプ・全国大会来場者数:6,000人	目標	()	(7,800人)	(6,000人)	(6,000人)	()
		実績			0人	0人	2,514人

進捗状況説明	<p>・合宿利用者数については、サッカーJリーグチーム春季キャンプ81人、ラクロスチーム41人、ソフトボールチーム27人、県外大学等の陸上競技合宿で652人が利用した。 (尚、利用者数計算方法が団体によって実人数とのべ人数が混在しており、のべ人数では3,503人となっている。)</p> <p>・J1リーグ1チームの春季キャンプが実施され2,514人の来場者となった。</p>
--------	--

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>スポーツ合宿利用団体数は、昨年度の11団体から21団体へと増加となった。また利用者数も比例して昨年度の721人から1,094人へ増加となった。 これまでのスポーツ合宿利用は、サッカー・陸上競技の2種目が中心であったが、今年度は新たにラクロス、ソフトボールチームの合宿の受入を行うことができた。 新規チームの受け入れについて、次年度以降も継続した受け入れが行えるよう、利用者の要望などをヒアリングを行う必要がある。 また、新たな種目・チームの受け入れについても検討しながら誘致に取り組んで行く必要がある。</p>	<p>これまで継続的に受け入れを行っているスポーツ合宿利用団体については、細かくヒアリングを行い連携することでリピーターとなることに繋がっている。新規チームに対しても、合宿後に要望等を聞き取り、施設環境をより充実させることで継続的な合宿利用に繋げることができる。 また、新たな種目・チームの受け入れを目指し、各種目の練習環境や合宿期間などを調査研究し、施設に合ったチームの受け入れを目指し取り組んで行く必要がある。</p>

今後の取り組み方針
<p>スポーツ合宿利用団体と細かく調整を行い、利用する際の要望や、利用後の反省点などを踏まえ、施設環境整備も含めた受け入れ体制を充実させていくことにより、継続的な合宿利用に繋げていく。 次年度以降、既存の受け入れチームの継続実施に加えて、新たな合宿種目であるラグビー合宿の実現に向け、施設の充実をPRするとともに、ラグビーチーム関係者と連携をとりながら推進していく。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流し、点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○各契約等については地方自治法施行令に基づく随意契約及び指名競争入札により実施しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業内容に基づく事業執行を行い、支出先の選定についても妥当であったことから、予算規模は、適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されており、適正であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されており、適正であったと考える。

市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑤	南風原町観光PR促進事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部課名	経済建設部 産業振興課	事業実施 (予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	本町の認知度向上と地域資源の情報発信を図るため、はえるんや野菜のお友達を活用し、県内外の様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,360	3,360	4,428	4,914	4,990
		(b) 予算現額	3,360	3,360	4,424	4,914	4,990
		(c) 増減額(b-a)	0	0	-4	0	0
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)		3,360	3,360	4,424	4,914	4,990
	B. 執行済額		3,360	3,360	4,398	4,286	4,798
	うち交付金充当額		2,688	2,688	3,518	3,429	3,838
	次年度繰越額		0	0	0	0	—
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	99.4%	87.2%	96.2%
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント自粛等により活動目標は下回ったものの、SNS内でのイベントを行う等、自らイベントを企画するなどし、南風原町及び南風原町観光のPRを行った。当初計画していた事業内容を概ね実施し適正に予算執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	はえるん等利用数:50件	目標	()	(50件)	(50件)	(50件)	
		実績		40件	28件	38件	
	イメージキャラクターによる観光PR活動(1年間で100回)	目標	(100回)	(100回)	(100回)	(100回)	
		実績	70回	58回	43回	89回	
達成状況説明	・はえるん等利用数は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で目標には届かなかったが、前年度より増加した。 ・イメージキャラクター『はえるん』を活用した観光PR活動については、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント自粛等もあり目標を達成できなかったが、自らイベント等を企画・開催することで観光PR活動についてはその件数を下支えすることができた。また、はえるんの認知度を町以外から広めていくため、近隣市町村のイメージキャラクターと共にSNS発信を行った。 以上の事から目標には届かなかったものの、その数を大幅に増やすことができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	観光サイトアクセス数:207,500件	目標	()	(207,500件)	(207,500件)	(207,500件)	()
		実績			106,325件	109,579件	112,863件
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・新型コロナウイルス感染拡大の影響によりイベントの開催数が減ったことで目標には届かなかったが、自らイベント等を企画・開催する事によりSNSを活用し、観光サイトを案内・PRすることで前年より微増することができ、2年連続増加することができた。					

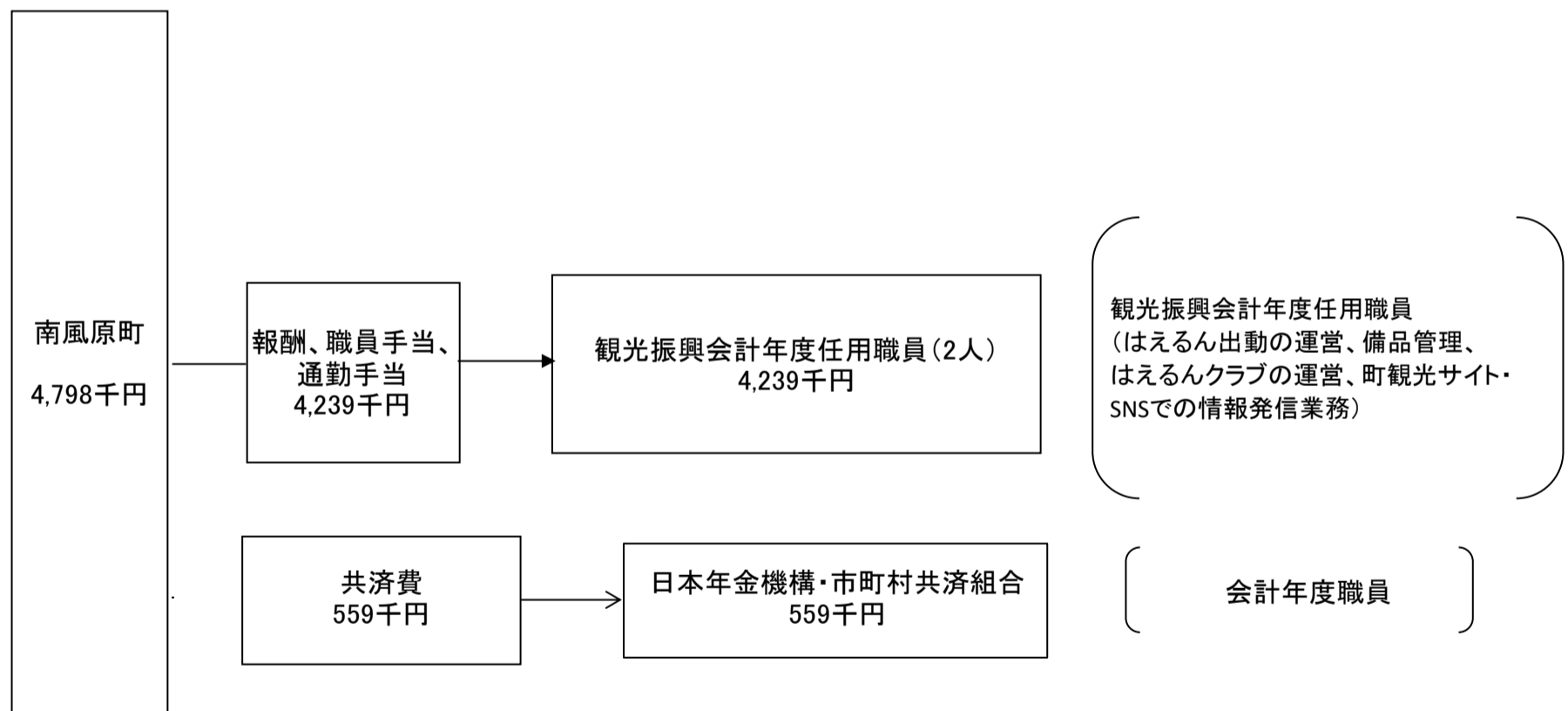
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、イベントの開催数が減り通年において、はえるん等利用申請数、イメージキャラクターによる観光PR活動、観光サイトアクセス数ともに成果目標を下回ったが、前年度比較では増加することができた。 特に、イメージキャラクターによる観光PR活動は前年度を大きく上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> はえるん等利用申請件数が目標に達していないため、その対策を行う必要がある。 SNSについてさらに種類を増やし情報発信することが必要である。 SNSを積極的に使い始めたため、活動内容が観光サイトを指標とすることと乖離してきている。

今後の取り組み方針

- はえるん等利用件数を増加させるため、小中学校等にも使用してもらえよう小中学校にPRを行う。
- Instagramを中心にSNS発信をおこなっているが、さらにYouTubeの活用を行う。
- 成果目標(指標)をSNS(Instagram)閲覧数に変更し、更なるSNS発信をおこなっていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,798	4,798	3,838	960	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員は面接によりしかるべき人物を採用しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、本事業の遂行に限られた経費となっており、適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について確認し、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑦	南風原北インターチェンジ周辺企業集積推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(1)-(ウ)	
担当部課名	経済建設部 まちづくり振興課	事業実施(予定)年度	令和2~令和6年度		沖縄振興基本方針該当箇所	中小企業等の経営基盤の強化による「稼ぐ力」の向上 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	企業誘致等による産業振興を図るため、南風原北インターチェンジ周辺の土地及び建物に関する権利調査や意向調査等を反映させた土地利用計画を策定する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和5年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,895	9,823	5,000		
		(b) 予算現額	4,510	9,130	4,576		
		(c) 増減額(b-a)	-385	-693	-424		
		(d) 繰越額	-	-	-		
	A. 計(b+d)		4,510	9,130	4,576		
	B. 執行済額		4,510	9,130	4,576		
	うち交付金充当額		3,608	7,304	3,660		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明		増減額424千円減額は入札差金によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	・前提条件の整理(まちづくりの現状・課題の整理等) ・区域検討を含む土地、権利調査 ・関係地権者意向調査 ・関係機関との協議支援	目標	()	(実施)	(実施)	()	
		実績		実施	実施		
	・土地利用計画(案)の策定	目標	(実施)	(実施)	(実施)	()	
		実績	実施	実施	実施		
	・実現化方策の検討 ・概算事業フレームの検討	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			実施		
	地権者及び地域との意見交換会、勉強会の開催	目標	(実施)	(実施)	(実施)	()	
		実績	実施	実施	実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 優先して事業化を図る区域の総合評価を行い、実現化方策の検討を行った。 概算事業フレームの検討を実施した。 						
R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(5年度)	
・実現化方策の検討完了 ・概算事業費の算出 ・地権者意見交換会の開催	目標	()	(計画書(素案)策定)	(計画書(案)策定)	(実現化方策の検討)	()	
	実績		計画書(素案)策定	計画書(案)策定	設定した成果目標は全て実施		

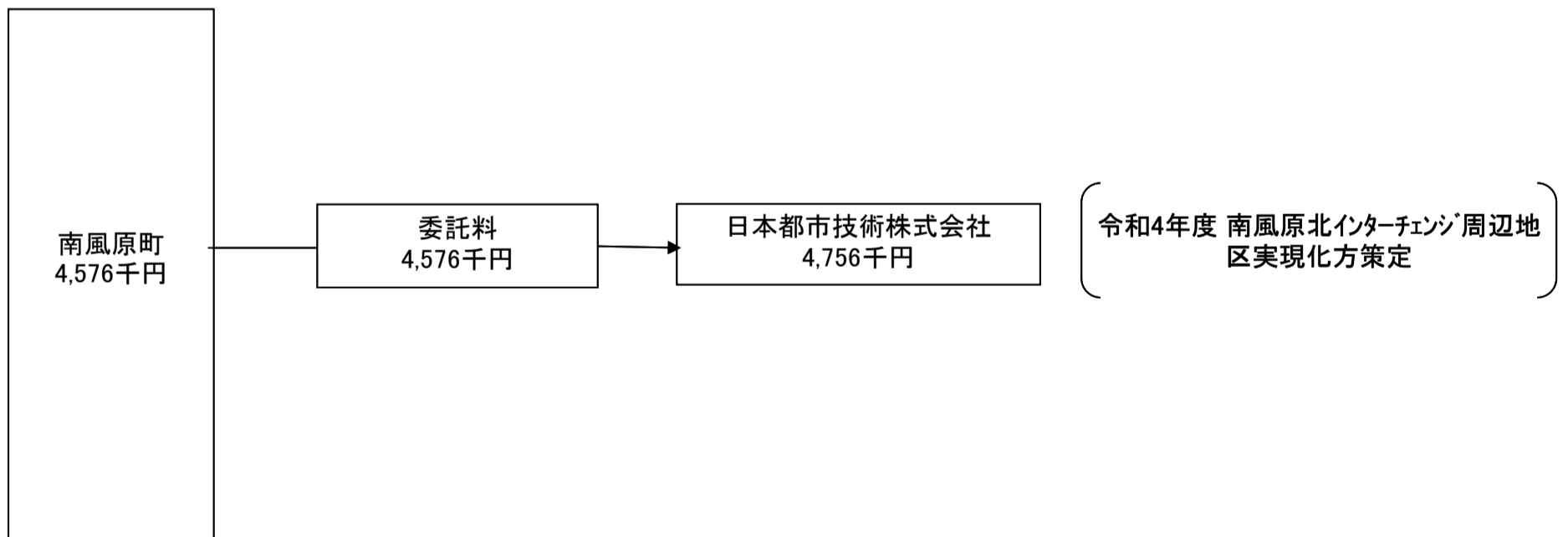
成果目標 (指標) 及び進捗状況	【R6成果目標】 企業誘致2社以上	目標	()	()	()	()	(2社)
	進捗状況説明	実績					
<p>・関係地権者の意向調査を踏まえ、優先して事業化を図る区域について総合評価を行い、実現化方策の検討を行った。</p>							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・補助事業の導入に向けた検討が必要。 ・関係地権者意向にばらつきがあるため、勉強会等を重ね土地利用計画に理解を深め、地権者の組織化を図る必要がある。</p>	<p>・土地利用計画の実現に向けて具体的な手法、事業導入の検討を含め、土地利用関連補助メニューを整理する。 ・意向調査の結果を踏まえ、協力が得られる意見も多く見られたため、そのメンバーを中心に機運を高めていく。</p>

今後の取り組み方針	
<p>・既往調査を踏まえ、具体的な事業化へ向け取り組みを進めていく。 ・沖縄県の第8回区域区分定期見直しに向けて、計画を具体化し市街化区域編入に向けて取り組む。</p>	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,576	4,576	3,660	916	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、仕様書に基づき必要な費用を計上しており、適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、仕様書のとおり実施されているので妥当であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

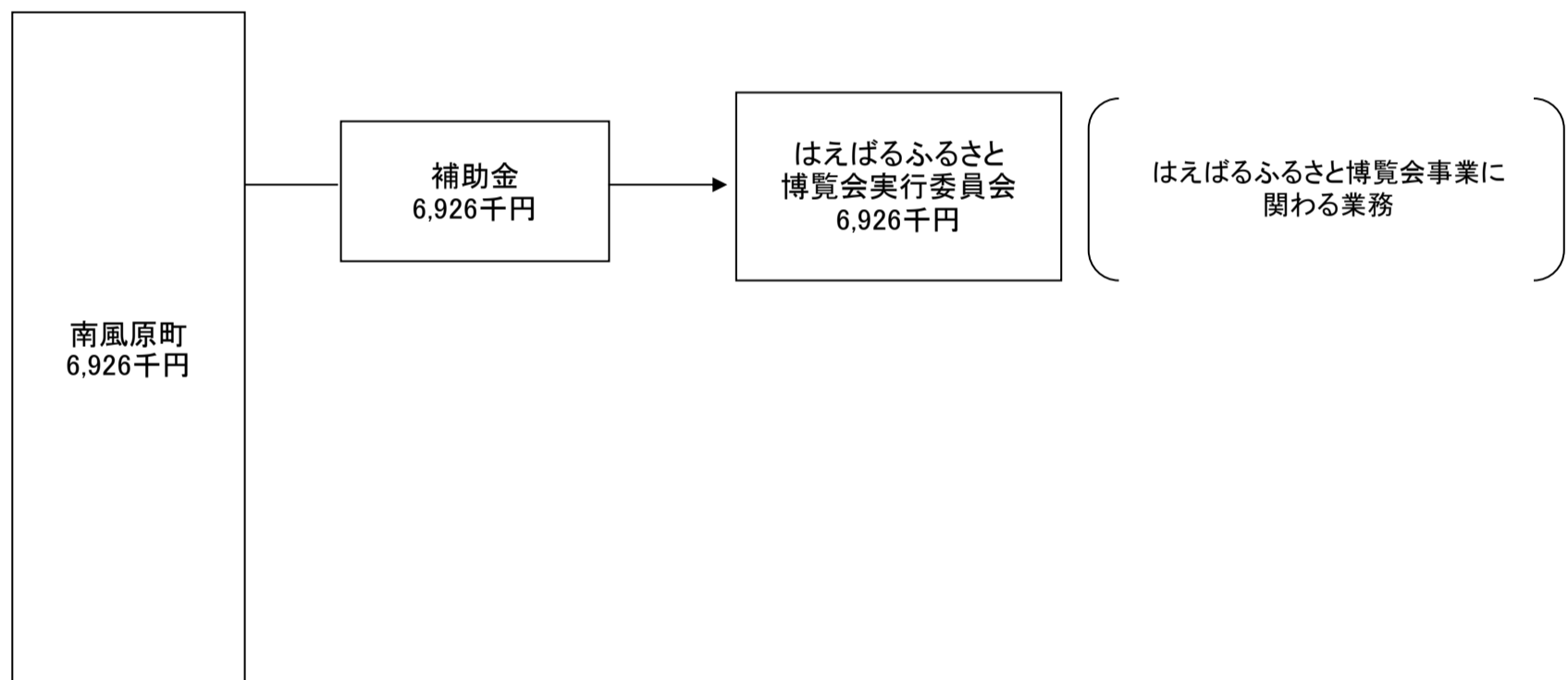
市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑧	ふるさと博覧会事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部課名	経済建設部 産業振興課	事業実施(予定)年度	令和4~13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	ふるさと博覧会を開催し町の知名度を向上させ観光客の誘客を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,867				
		(b) 予算現額	8,000				
		(c) 増減額(b-a)	-1,867	0	0	0	
		(d) 繰越額	-				
	A. 計(b+d)		8,000	0	0	0	
	B. 執行済額		6,926				
	うち交付金充当額		5,540				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		86.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染症の影響により当初よりも実施規模を大きく縮小して実施した。その状況の中ではあるが、適正に予算執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	ふるさと博覧会開催の支援	目標	(開催の支援)	()	()	()	
		実績	開催の支援				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	コロナで規模縮小ながら実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	来場客数:9,000人	目標	()	(9,000)	()	()	()
		実績		4,190人			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響により当初2日開催を1日開催に、野外ステージも設置しない等、開催規模を大幅に縮小して開催した。その結果、来場客数が目標より大きく下回った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	町の知名度を向上させ観光客の誘客を図る事業内容だが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により規模を大幅に縮小することになった。	<ul style="list-style-type: none"> 今回の縮小開催でなく、通常開催を行う必要がある。 今回YouTube配信を行ったが、日本語字幕のみの作成にとどまり、国外へアピールすることが出来なかった。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・YouTubeに関しては国外でも対応できるよう、外国語訳の字幕での作成を検討する。 ・観光客の誘客を考慮し、更に本町の伝統工芸である琉球絣等や伝統芸能をPRする取り組みを行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,005	6,926	5,540	1,386	79



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法は、補助の取り扱い基準に基づき執行しており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、本事業の完遂に必要な費用に限られており、適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係については、補助の取り扱い基準に基づき執行しており適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑨	南風原町商品展開力強化支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(1)-(ウ)		
担当部課名	経済建設部産業振興課	事業実施 (予定)年度	平成24～令和9年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	中小企業等の経営基の盤強化 による「稼ぐ力」の向上		
事業内容	本町の中小・小規模事業者が地域資源を活用して製造及び販売する商品を消費者ニーズにあった魅力ある商品へブラッシュアップするための支援を行います。また、商品の製造ラインや販売方法の課題を専門家のアドバイス等により解決を図るとともに、ブランド認証及びプロモーションにより県内外の消費者へ周知し、地域産品の売上の拡大を図ります。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和5年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	15,000	15,000	14,993	14,993	15,356
		(b)予算現額	15,000	15,000	14,993	14,993	15,356
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	15,000	15,000	14,993	14,993	15,356
	B.執行済額		14,999	14,531	14,047	14,377	15,114
	うち交付金充当額		11,999	11,624	11,237	11,501	12,091
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	96.9%	93.7%	95.9%	98.4%
予算の状況の説明		販路開拓やブランド認証制度の運用業務等を委託し、ほぼ予定通り事業執行することができた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	商品改良相談(延べ50件)	目標	()	()	()	(延べ50件)	
		実績				延べ47件	
	企業マッチング相談(10件)	目標	()	()	()	(10件)	
		実績				3件	
	品質向上セミナーの実施(3回)	目標	()	()	()	(3回)	
		実績				3回	
	販路開拓セミナーの実施(2回)	目標	()	()	()	(2回)	
		実績				1回	
	地域産品の販路開拓(テスト販売の実施5回)	目標	()	()	()	(5回)	
		実績				5回	
	優れた特産品の町内ブランド「はえばる良品」の 認証(更新含む5件)	目標	()	()	()	(5件)	
		実績				9件	
	【参考指標】町内事業者を対象に商品開発に関 するワークショップの開催(5回)	目標	(5回)	(5回)	(5回)	()	
		実績	6回	15回	5回		
【参考指標】ブランド認証制度の構築・運用	目標	(構築・運用)	()	()	()		
	実績	構築・運用					
【参考指標】28年度に認証した商品のPR	目標	(実施)	()	()	()		
	実績	実施					
【参考指標】優れた特産品の町内ブランド「はえ ばる良品」の認証(2件)	目標	()	(2件)	(2件)	()		
	実績		2件	9件			
【参考指標】特産品の販路開拓(テスト販売出展 等5回)	目標	(5回)	(5回)	(5回)	()		
	実績	4回	5回	6回			
【参考指標】販路開拓セミナーの実施(6回)	目標	(6回)	(6回)	(6回)	()		
	実績	6回	6回	6回			
達成状況説明	品質向上セミナーや販路開拓のためのテスト販売については、目標を達成する事ができ、それ以外の目標についても概ね予定通り実施することができた。しかし、企業マッチング相談については、支援対象として想定していた事業者が多忙になり、支援することができなかったため、目標達成には至らなかった。						

R4成果目標(指標)		基準値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
		(年度)				(R5年度)
改良商品の販売向上率(個数):前年度比4%以上UP	目標	()	()	()	()	(4%以上)
	実績					
商品改良の実施	目標	()	()	()	(実施)	()
	実績				実施	
「はえばる良品」の認証の実施	目標	()	()	()	(実施)	()
	実績				実施	
【参考指標】はえばる良品の販売個数増 びよびよシフォン4,486個	目標	()	(7,560)	(4,486)	()	()
	実績		4,124	5,082		
【参考指標】はえばる良品の販売個数増 ゆめかなえぼしパウンドケーキ473個	目標	()	(336)	(473)	()	()
	実績		480	72		
【参考指標】はえばる良品の販売個数増 漉しカボチャ使って味わうスープの素2,100個	目標	()	(1,890)	(2,100)	()	()
	実績		2,500	2,100		
【参考指標】はえばる良品の販売個数増 はえばるのまきもの95個	目標	()	(87)	(95)	()	()
	実績		100	105		
【参考指標】はえばる良品の販売個数増 ウォッチナー116個	目標	()	(105)	(116)	()	()
	実績		120	70		
【参考指標】はえばる良品の販売個数増 SANGOくっしょん803個	目標	()	(756)	(803)	()	()
	実績		800	434		
【参考指標】はえばる良品の販売個数増 沖縄キビまる豚1,260個	目標	()	(1,050)	(1,260)	()	()
	実績		1,500	1,570		
進捗状況説明	令和4年度は3件の商品改良を行った。 本事業は後年度に効果が発現する事業であることから、令和5年度の販売向上率(個数)を成果目標としている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・3件の商品改良を行い、また、商品のPRのため、県内外のイベントに参加したが、プロモーションによる町内外の消費者への周知についても引き続き取り組む必要があると考える。 ・琉球絣や南風原花織などの伝統工芸について、さらなるブラッシュアップが必要と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内外催事等へ積極的に出展し、「はえばる良品」をはじめとする地域産品の販路開拓を図る。 ・琉球絣や南風原花織などの伝統工芸についても商品開発、ブラッシュアップに取り組む。
今後の取り組み方針		
県内外の催事等での販路開拓やプロモーションによる町内外の消費者への周知を行う。また、商品開発や既存地域産品のブラッシュアップ、商品製造ライン等の課題解決に取り組む。		

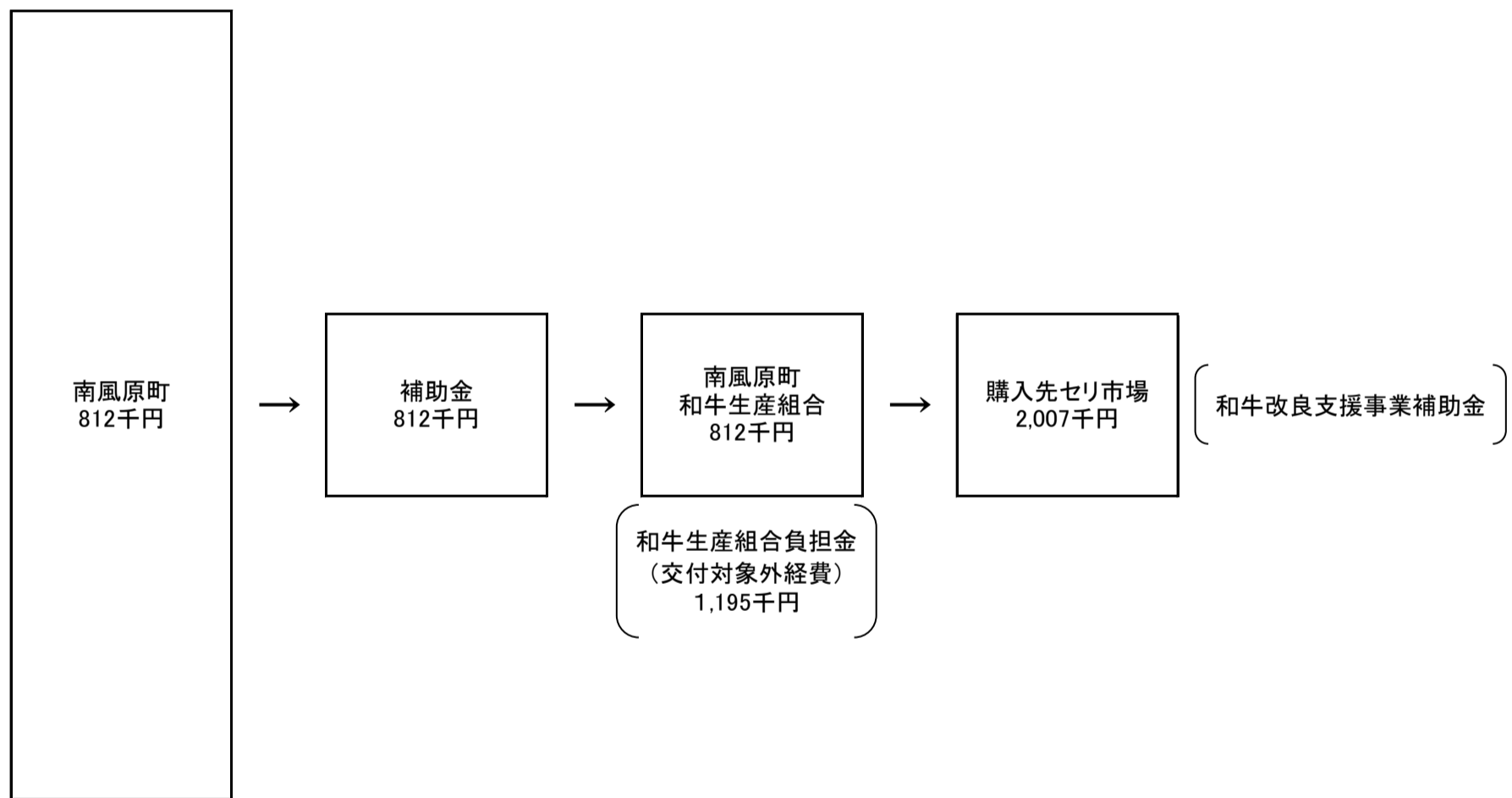
資金の流れ																
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; margin: 0 auto;">南風原町 15,114千円</div> <div style="margin: 10px 0;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin: 0 auto;">委託料 15,114千円</div> <div style="margin: 10px 0;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin: 0 auto;">南風原町商工会 15,114千円</div> <div style="margin-left: 20px;">(「南風原町商品展開力強化支援事業」に係る委託業務)</div>	<table border="1" style="margin: 0 auto;"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">15,114</td> <td style="text-align: center;">15,114</td> <td style="text-align: center;">12,091</td> <td style="text-align: center;">3,023</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	15,114	15,114	12,091	3,023	0					
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費												
15,114	15,114	12,091	3,023	0												
資金の流れ、点検評価	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>点検項目</th> <th>評価に関する説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td>支出先の選定方法は妥当か。</td> <td>○随意契約により契約した南風原町商工会は、商工業の総合的な改善発達を図るための組織として設立された町内唯一の地域経済団体であり、地域経済に精通し、町の歴史背景や地域性、地域資源を十分に理解している組織でもあり、本業務の遂行に必要な多くの町内事業所との広範なネットワークも有していることから、妥当であると考えます。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td>予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。</td> <td>○予算規模は、本事業の遂行に限られた経費となっており、適正であった。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td>受益者との負担関係は妥当であるか。</td> <td>○費目・使途については、額の各提示において事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、書類により確認を行っており、適正であった。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td>費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価	点検項目	評価に関する説明	○	支出先の選定方法は妥当か。	○随意契約により契約した南風原町商工会は、商工業の総合的な改善発達を図るための組織として設立された町内唯一の地域経済団体であり、地域経済に精通し、町の歴史背景や地域性、地域資源を十分に理解している組織でもあり、本業務の遂行に必要な多くの町内事業所との広範なネットワークも有していることから、妥当であると考えます。	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、本事業の遂行に限られた経費となっており、適正であった。	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、額の各提示において事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、書類により確認を行っており、適正であった。	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
評価	点検項目	評価に関する説明														
○	支出先の選定方法は妥当か。	○随意契約により契約した南風原町商工会は、商工業の総合的な改善発達を図るための組織として設立された町内唯一の地域経済団体であり、地域経済に精通し、町の歴史背景や地域性、地域資源を十分に理解している組織でもあり、本業務の遂行に必要な多くの町内事業所との広範なネットワークも有していることから、妥当であると考えます。														
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、本事業の遂行に限られた経費となっており、適正であった。														
-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、額の各提示において事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、書類により確認を行っており、適正であった。														
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。															

市町村名	南風原町							
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-⑩ 南風原町和牛改良支援事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第4章-3-(7)-ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の確立						
担当部課名	経済建設部 産業振興課	事業実施(予定)年度 令和4～令和6年度 沖縄振興基本方針該当箇所 Ⅲ-1-(6)						
事業内容	農家の経営安定化に向け、子牛の品質向上により高価格で出荷できるよう優良母牛導入経費の一部を支援する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,000	0	2,000	1,000	1,000	
		(b) 予算現額	2,000	0	1,000	930	812	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	-1,000	-70	-188	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	2,000	0	1,000	930	812	
	B. 執行済額		1,772	0	954	930	812	
	うち交付金充当額		1,418	0	763	744	649	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		88.6%	#DIV/0!	95.4%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		予算減額188千円は、導入牛が当初計画より安価で落札できたことによる。計画どおり優良繁殖雌牛を2頭導入できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	優良母牛導入(2頭)の導入支援完了		目標	()	(2頭)	(2頭)	(2頭)	
			実績		2頭	2頭	2頭	
			目標	()	()	()	()	
		実績						
達成状況説明	計画どおり優良繁殖雌牛2頭の導入を支援することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	導入した優良母牛から生まれた子牛と導入牛以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合(牝)110%、(去勢)110%以上		目標	()	(牝)104% (去勢)117%	(牝)104% (去勢)117%	(牝)110% (去勢)110%	()
			実績		(牝)96.39% (去勢)99.56%	(牝)112.56% (去勢)111.97%	(牝)105.29% (去勢)108.7%	
	【参考指標】		目標	()	()	()	()	()
			実績					
進捗状況説明	・今年度は牝牛、去勢牛ともに発育不良の個体が平均販売価格を押し下げたため達成できなかった。 【導入対象農家の子牛平均落札価格実績(南部家畜市場提供)】 導入牛 (A)616,550円(牝6頭)、719,400円(去勢7頭) 非導入牛 (B)585,567円(牝11頭)、661,788円(去勢18頭) 価格差(A/B) = 105.29%(牝)、108.7%(去勢)							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・新型コロナウイルス感染症による観光需要減等の影響は引き続きあるが、ウクライナとロシアの戦争と円安の進行により飼料価格が高騰し、子牛買い手の買い控えが起こった。</p>	<p>・昨年に比べて出荷頭数及び価格差目標実績の低下がみられるため、引き続き飼養管理技術向上、優良母牛の更新が必要である。また、発育不良の要因を検証し、改善を図る。</p>
今後の取り組み方針		
<p>関係機関と協力して飼養管理技術の向上と優良母牛の更新を図るため、農家への支援を継続していく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,007	812	649	163	1,195



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は町内農家で構成された団体であり、選定は妥当であると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額はあるものの、セリによる落札であるため妥当な規模の範囲内と判断した。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である農家は総事業費の5割以上を負担しており、事業内容からして妥当であると判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即した必要なものであると判断した。

市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 草木リサイクル事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-イ		
担当部課名	総務部 住民環境課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	社会生活における資源循環の推進		
事業内容	草木廃棄物を利用した「循環のシステム」を構築するため、町内家庭から出る草木を堆肥化し、活用する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		7,215	6,508	8,275	10,741	9,140
			7,215	7,560	8,275	10,741	9,140
			0	1,052	0	0	0
			7,215	7,560	8,275	10,741	9,140
	B. 執行済額		6696	7919	10287	7,974	9,201
	うち交付金充当額		5357	6335	8229	6,379	7,360
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		92.8%	104.7%	124.3%	74.2%	100.7%
	予算の状況の説明		予算執行については令和3年度の実績により予算措置したが、排出される草木量が見込み量より増加したため、61千円の不足額が生じた。				
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	町内から排出される草木を堆肥化することで、リサイクル量の増を図る。	目標	(リサイクル量の増を図る)	(リサイクル量の増を図る)	(リサイクル量の増を図る)	(リサイクル量の増を図る)	
		実績	増	増	減	減	
	町内から排出される草木の堆肥化完了	目標	(堆肥化完了)	(堆肥化完了)	(堆肥化完了)	(堆肥化完了)	
		実績	堆肥化完了	堆肥化完了	堆肥化完了	堆肥化完了	
達成状況説明	町内の各家庭、地域の清掃活動から排出された草木を収集し、579tを堆肥化することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	家庭系草木のリサイクル量(堆肥化):516t	目標	()	(435t)	(435t)	(516t)	()
		実績		592t	443t	481t	
	町内一斉清掃等草木のリサイクル量(堆肥化):106t	目標	()	(105t)	(105t)	(106t)	()
		実績		104t	90t	98t	
	進捗状況説明	家庭系草木は目標の516tより35t少ない481tを収集し、堆肥化することができた。また、町内一斉清掃草木については目標の106tより8t少ない98tをリサイクルできたが、両方とも目標は達成できなかった。					

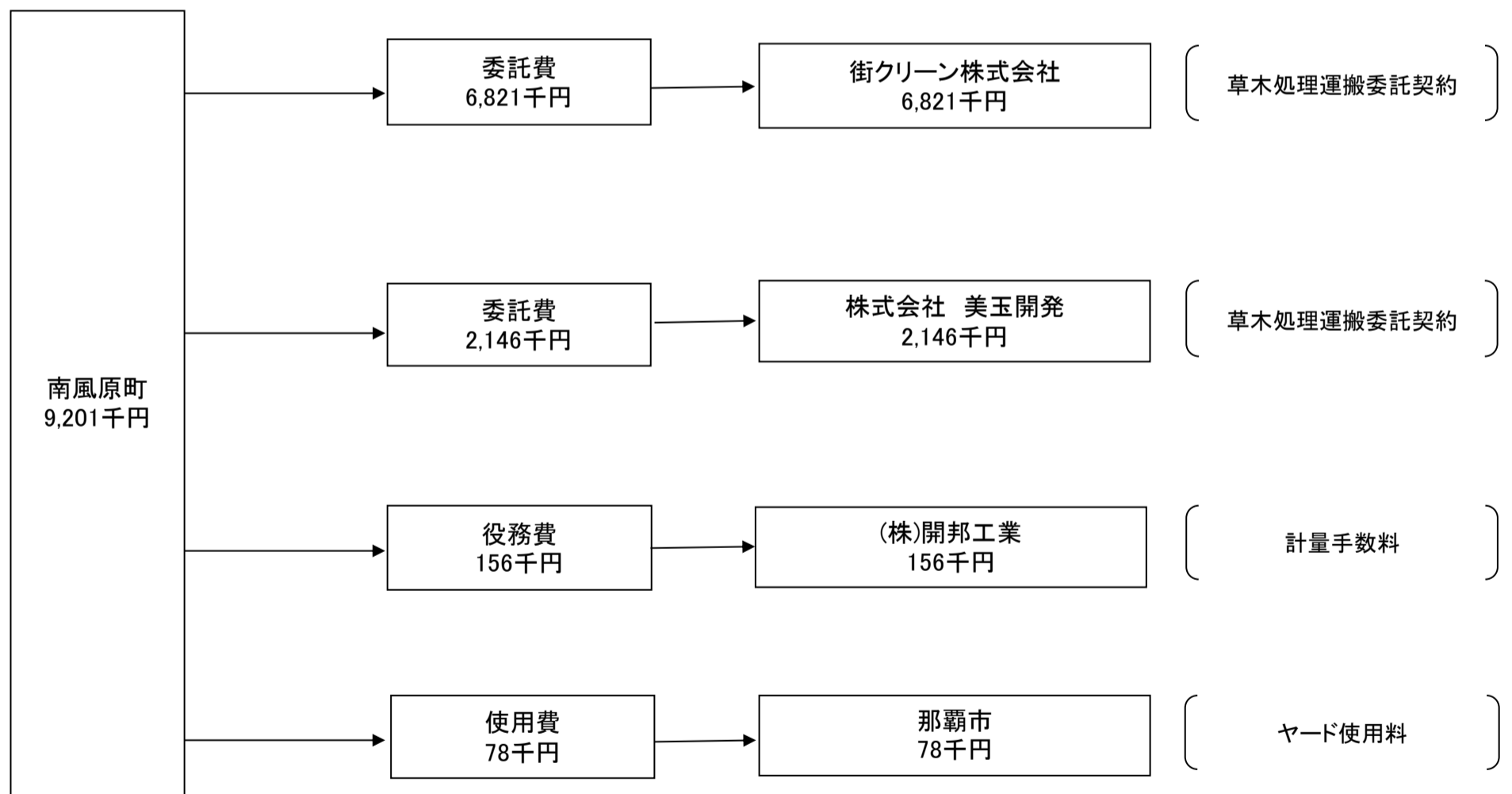
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・草木の排出量が増えると異物混入が多くなることから、収集の際に異物混入がないかチェック体制を強化する必要がある。 ・実績値は前年度を上回っているものの、目標値を下回っており、その要因として新型コロナウイルス感染症等の影響により、家庭や地域での清掃活動の機会が減ったことが考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異物混入を減少させるため、作業員による収集時や個人による自己搬入時の分別を徹底させる必要がある。 ・目標値は過去の平均値から積算しているので実績値との乖離は想定されるが今後も目標値の積算について精査していく。

今後の取り組み方針

引き続き収集時に収集員によるチェック作業を行うとともに、草木の施設への自己搬入についても異物混入がないよう受入作業担当者と連携して取り組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
9,201	9,201	7,360	1,841	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○南風原町近郊で家庭から排出された草木を堆肥にリサイクルできる委託先が一社しかないため、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号による随意契約である。 ○予算執行率は草木の搬入量の範囲内で適正な量であったため予算規模も適正であった。 ○費用・使途も事業にかかる経費で真に限定的である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-② 環境保全3R推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-イ		
担当部課名	総務部 住民環境課	事業実施(予定)年度	令和1~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	社会生活における資源循環の推進		
事業内容	本町の一般世帯から回収された資源ごみの分別作業を実施しリサイクルすることで環境負荷の少ない循環型社会を形成する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,265	9,382	11,304	13,000	
		(b) 予算現額	4,265	9,382	11,304	13,000	
		(c) 増減額(b-a)		0	0	0	0
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)			9,382	11,304	13,000	0
	B. 執行済額		4264	9381	11303	13,000	
	うち交付金充当額		3411	7505	9042	10,399	
	次年度繰越額			0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!
予算の状況の説明		事業計画どおりの執行ができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	町内から排出される資源ごみを分別しリサイクル量の増加をはかる。	目標	(リサイクル量の増を図る)	(リサイクル量の増を図る)	(リサイクル量の増を図る)	(リサイクル量の増を図る)	
		実績	増	増	減	減	
	町内から排出される資源ごみを分別及びリサイクルの完了	目標	(分別及びリサイクルの完了)	(分別及びリサイクルの完了)	(分別及びリサイクルの完了)	(分別及びリサイクルの完了)	
		実績	分別及びリサイクルの完了	分別及びリサイクルの完了	分別及びリサイクルの完了	分別及びリサイクルの完了	
達成状況説明	計画どおり資源ごみを分別することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、ペットボトル、古着)の収集分別量1,200t	目標	()	(685t)	(703t)	(1,200t)	()
		実績		756t	662t	870t	
	廃食油の収集分別量 19,500ℓ	目標	()	(20,691ℓ)	(18,317ℓ)	(19,500ℓ)	()
		実績		19,156ℓ	21,941ℓ	15,833ℓ	
	進捗状況説明	資源ごみは目標の1,200tを下回る870tを分別することができた。廃食油は目標の19,500ℓを下回る15,833ℓを分別することができた。					

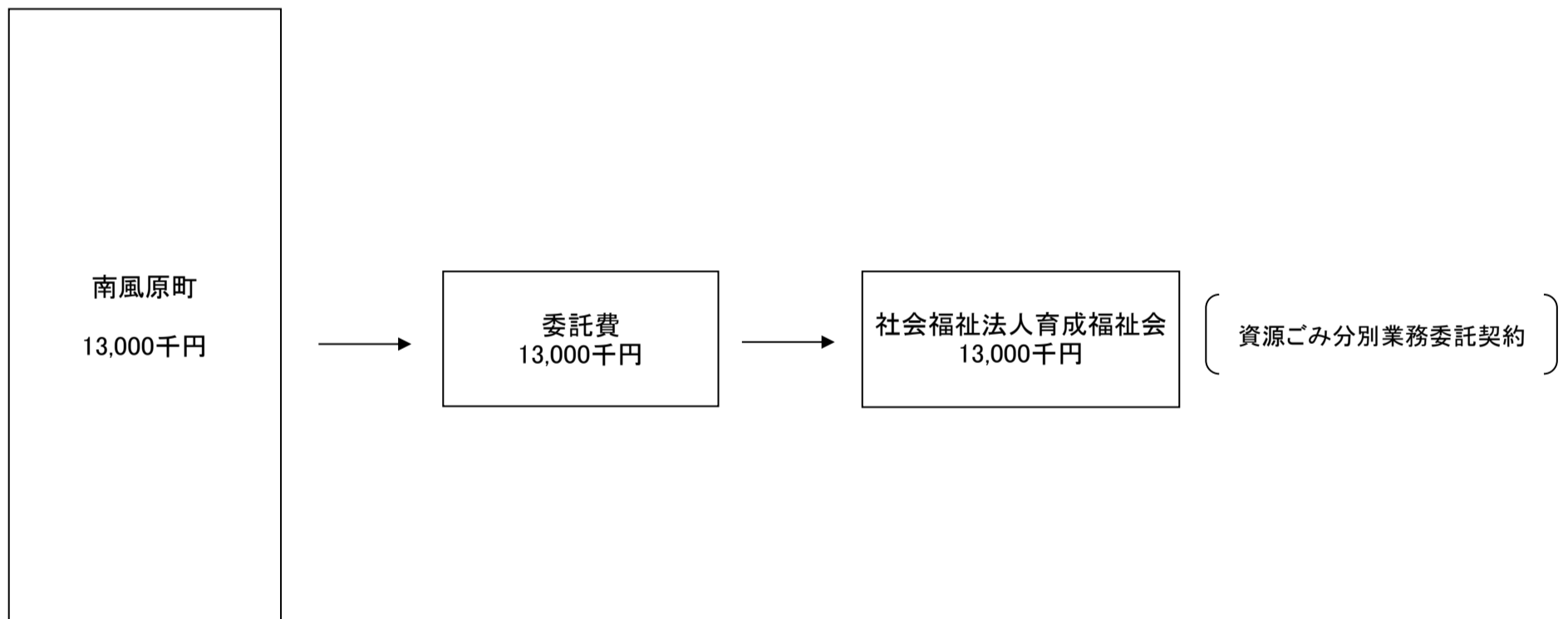
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・排出される資源ごみの増加により、異物混入も増加している。 ・異物混入対策のため作業員の増員を図ったが人員の確保ができていない。 ・実績値が目標値を下回った要因として、新型コロナウイルス感染症の感染状況が改善し、自宅で過ごす時間が減少し家庭から排出される資源ごみが減った事が考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分別作業スケジュールの見直しを検討する。 ・収集時に指導シールを貼り異物混入を防ぐ。 ・目標値は過去の平均値から積算しているので実績値との乖離は想定されるが今後も目標値の積算について精査していく。

今後の取り組み方針

ごみの排出量によって作業時間の延長や作業日の追加など作業スケジュールの見直しに取り組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,000	13,000	10,399	2,601	0



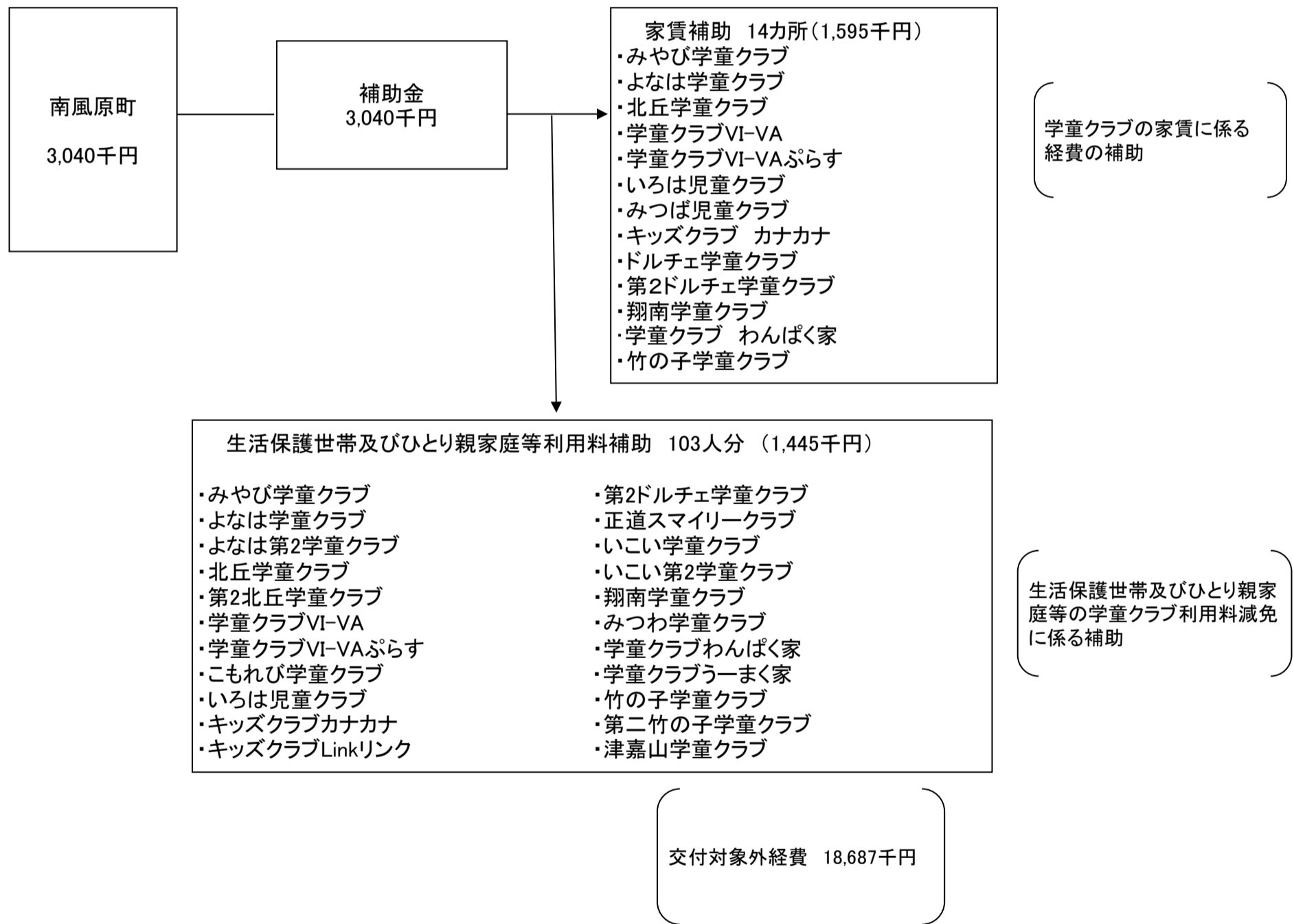
資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○本事業は町内における資源ごみを分別しリサイクルすることで環境負荷の少ない循環型社会を形成することを目標としており本町障がい者優先調達推進方針及び地方自治法施行令第167条の2第1項第3号による随意契約であり妥当である。 ○予算執行率は100%で不用額はなく適正であった。 ○費用・使途も事業にかかる経費で真に限定的である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	放課後児童の居場所づくり支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-(イ)	
担当部課名	民生部 こども課	事業実施 (予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	子ども・若者の育成支援		
事業内容	本町の民間の賃貸住宅等を利用している学童クラブに対して家賃の補助を実施する。また、学童クラブが生活保護世帯及びひとり親家庭・非課税世帯等の学童利用者に対し利用料を減免した場合の補助を実施することで、安心・安全に子供を預けることができ、保護者の子育てへの負担感を軽減する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,468	10,068	10,627	12,377	12,348
		(b) 予算現額	10,209	10,190	11,237	12,377	3,069
		(c) 増減額(b-a)	741	122	610	0	-9,279
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		10,209	10,190	11,237	12,377	3,069
	B. 執行済額		9,798	10,075	10,415	11,504	3,040
	うち交付金充当額		7,838	8,060	8,332	9,203	2,431
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		96.0%	98.9%	92.7%	92.9%	99.1%
予算の状況の説明		当初、非課税世帯が新たに追加されるため前年度によらず対象世帯数を見込んでいたが、実績での対象世帯数が見込みよりも少なかったことにより予算減額を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	(1)家賃補助 12ヶ所	目標	(9件)	(10件)	(12件)	(12件)	
		実績	9件	11件	12件	14件	
	(2)生活保護世帯及びひとり親世帯等学童クラブ利用支援補助 167人分	目標	(91人)	(92人)	(97人)	(167人)	
		実績	103人	95人	100人	103人	
達成状況説明	・家賃補助について、7月から補助の上限額を1ヶ月50,000円から255,000円に引上げ、賃借料を負担して民間施設等で運営を行っている14学童クラブに対して、負担軽減のため家賃補助を実施した。 ・学童利用料の減免に対する支援については、対象世帯へ1ヶ月5,000円を上限に利用料減免補助を実施した。また、7月からは対象世帯に非課税世帯を追加した。新規追加となる非課税世帯数を予測し167人分を目標としていたが、実績での対象者は103人となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか、本事業により、就労できた又は就労を継続できたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		94%	94%	99%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	学童クラブへ対する家賃補助の結果、学童利用者の利用料を減額することができ、保護者の負担軽減に繋がったことや、生活保護世帯やひとり親家庭・非課税世帯への学童利用料の減免を行うことで、生活保護世帯やひとり親家庭・非課税世帯が学童クラブに児童を預けやすくなった。その結果、安心・安全に子供達を預けることができ、保護者アンケートにおいて子育てへの負担感が軽減されたと答えた割合が99%となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	家賃補助の上限額引き上げや減免対象世帯の拡充を行う際に学童クラブへの説明会を実施し、補助内容について丁寧に周知した。その結果、利用料の減免を適切に行うことができ、保護者アンケートにおいて目標を上回る結果が出たと考えられる。	家賃補助の結果による利用料の減額が継続して行われているかを調査するとともに、学童クラブへ事業実施にあたり困り感がないかなどを確認、支援を行うことで、保護者へ適切に還元できるよう務め、目標達成を継続する。
今後の取り組み方針		
学童クラブへの支援や説明会等を続けていき、町ホームページ等を活用した保護者への事業内容周知を行い、双方での理解を深めることで、より多くの保護者の負担軽減が行えるよう取り組んでいく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
21,727	3,040	2,431	609	18,687



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○実績等を勘案した上で補助事業者(学童クラブ)を決定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業達成に必要な分の金額を支出し、適当な額で実施している。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金の上限を超える金額はクラブ負担であり、妥当で合ったと考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時に支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名	南風原町							
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-②	認可外保育園支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-ア				
担当部課名	民生部	こども課	事業実施(予定)年度	令和1~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	子ども・子育て支援の充実		
事業内容	認可外保育施設の保育の充実及び利用児童の福祉向上を図るため、町内認可外保育施設に対し、運営費、歯科検診、傷害保険に係る費用の一部補助を行う。また、町外認可外保育施設を利用する本町在住児童保護者に対し、保育料軽減を目的として助成を行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,356	3,941	2,904	1,458		
		(b) 予算現額	2,356	3,941	1,806	646		
		(c) 増減額(b-a)	0	0	-1,098	-812		
		(d) 繰越額	0	0	0	0		
		A. 計(b+d)	2,356	3,941	1,806	646		
	B. 執行済額		2131	2152	1336	425		
	うち交付金充当額		1704	1721	1069	339		
	次年度繰越額		0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		90.4%	54.6%	74.0%	65.8%		
予算の状況の説明		施設補助は年度途中の閉園と補助要件を満たさない施設による減額、保育料補助は昨年度実績数から減となり、812千円減額と221千円の不用額が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	認可外保育施設への補助 1園		目標	(実施)	(5園)	(3園)	(1園)	
	1. 運営費補助		実績	実施	3園	3園	1園	
	2. 傷害保険補助							
	3. 歯科検診補助							
町外認可外保育施設に通う町内在住者の児童の保護者への助成 31人		目標	(実施)	(31人)	(31人)	(31人)		
		実績	実施	30人	22人	13人		
達成状況説明		・町内認可外保育施設1園に運営費として1人あたり月1,500円、歯科検診費として1人あたり750円の補助を実施した。 ・町外認可外保育施設に通う本町在住児童13人の保護者に1人あたり月1,500円の助成を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	園児の保護者に対し、保育の質が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。		目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績		97.8%	88.0%	90.9%	
	園児の保護者に対し、助成により保護者負担が軽減されたか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。		目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績		90.9%	100.0%	80.0%	
	進捗状況説明		当事業の対象児童保護者に対しアンケートを実施し、目標以上の評価を得ることができた。					

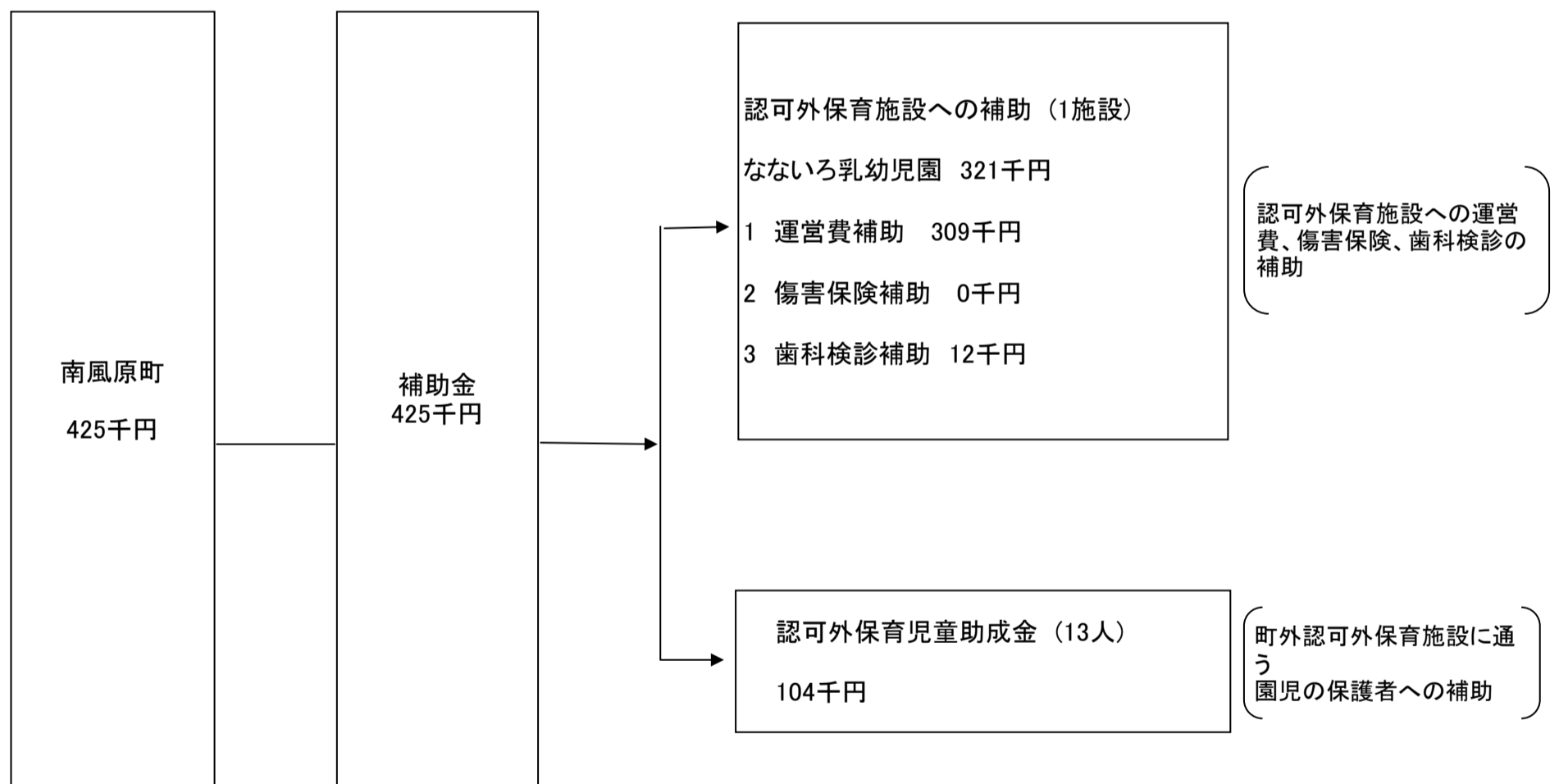
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業を広報誌・ホームページで広く周知した結果、成果目標を達成しており、課題はないと考える。 ・町内認可保育施設及び企業主導型保育施設の増加に伴い、町内在住児童の町内認可外保育施設の利用者は減少傾向にあるが、依然として認可外保育施設の需要はある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周知効率の向上により、成果目標を達成しており改善余地はないものと考ええる。 ・事務手続きについて事業対象施設に丁寧な説明を実施し更なる効率化が必要である。

今後の取り組み方針

・施設補助について現在新規施設設立の予定はないため、既存施設においては事務手続きフロー等を作成し、引き続き事業を実施する。また、保育料補助においては、保護者への周知は今後も引き続き広報誌やホームページで広く周知し、子育ての負担軽減が図れるよう取り組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
425	425	339	86	0



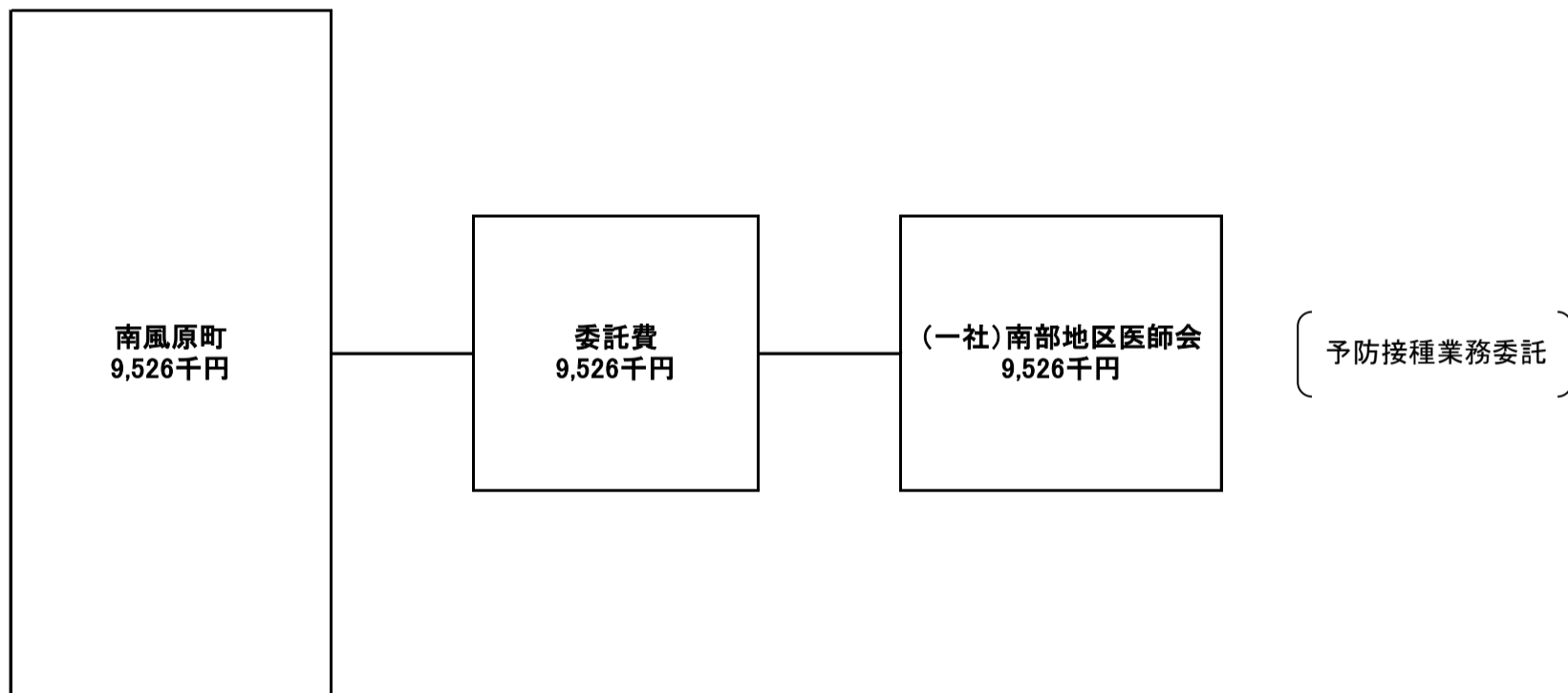
	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目・使途の点検評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○要綱に基づいての決定しており、妥当であると考ええる。 ○事業達成に必要な金額を支出し、妥当な額であると考ええる。 ○上限を超える金額は施設又は保護者の負担になるので妥当であると考ええる。 ○事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時の支出等に関する書類により確認し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	輸入感染症対策推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(3)-エ	
担当部課名	民生部 国保年金課	事業実施 (予定)年度	令和2~令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	感染症に備えた保健衛生、医療 提供体制の拡充・強化		
事業内容	麻しん・風しんに感染した観光客が来県した場合でも当該感染症の蔓延を予防し、沖縄観光や経済等への影響を最小限に抑えるため、麻しん・風しん(MR)予防接種の受けやすい体制の構築により接種率の向上を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	11,945	12,298	12,984		
		(b) 予算現額	12,858	12,984	12,984		
		(c) 増減額(b-a)	913	686	0		
		(d) 繰越額	0	0	0		
		A. 計(b+d)	12,858	12,984	12,984		
	B. 執行済額		11,186	10,953	9,525		
	うち交付金充当額		8,949	8,762	7,620		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		87.0%	84.4%	73.4%		
予算の状況の説明		事業期間において、1,100件の接種を見込んでいたが、808件の接種となり73.4%の執行となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	MR I 期接種目標率 95%	目標	(95%)	(95%)	(95%)	()	
		実績	103.8%	91.8%	90.2%		
	MR II 期接種目標率 95%	目標	(95%)	(95%)	(95%)	()	
		実績	87.9%	84.2%	81.3%		
達成状況説明	・MR I 期については、531名の対象者(令和4年10月1日基準日)に対し479名の接種者(令和4年度実績)があり、達成率は90.2%となり目標は未達となった。 ・MR II 期については、町のホームページの掲載や教育委員会の実施する就学前健診時に未接種者への接種勧奨を教育委員会と連携し行ったが、599名の対象者のうち487名の接種に止まり、達成率は81.3%で目標未達となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	目標	()	(0件)	(0件)	(0件)	()
		実績		0件	0件	0件	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しんの感染は確認されず、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	成果目標は達成できたが、活動目標である接種率を向上させないと後年度に影響が出る可能性があるため接種率の向上を図る必要がある。	今後も継続した接種率向上を図る取り組みの検討が必要である。
今後の取り組み方針		
MRI期については、1歳6か月健診の歳に、母子手帳を確認して未接種の方への接種勧奨に取り組む。その他、今後も町ホームページやSNSによる予防接種の広報、就学前健診時の接種勧奨を教育委員会と連携し取り組む。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
9,525	9,525	7,620	1,905	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は予防接種実施医療機関をまとめている、年部地医師会と地方自治法施行令167条の2第1項第2号に基づく随意契約となっており妥当である。 ○平均85%の接種率があり、予算規模は適正である。 ○用途は予防接種のみと限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	陸軍病院壕公開活用事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア	
担当部課名	教育部 生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及		
事業内容	沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行うとともに、壕群を訪れる見学者へのガイド案内を実施することで、南風原町の歴史継承及び観光の誘客を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,992	7,042	7,690	7,979	8,090
		(b) 予算現額	5,670	7,042	5,690	7,979	8,125
		(c) 増減額(b-a)	-1,322	0	-2,000	0	35
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		5,670	7,042	5,690	7,979	8,125
	B. 執行済額		5,159	5,159	3,648	4,433	6,922
	うち交付金充当額		4,412	4,127	2,918	3,546	5,537
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		91.0%	73.3%	64.1%	55.6%	85.2%
予算の状況の説明		不用額1,203千円は、来壕者数が減少したことによる南風原町観光協会への委託費660千円の減、会計年度任用職員に係る報酬等の実績による減、また、会計年度任用職員の報酬のうち459千円を交付対象外経費にしたことなどによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	開壕日数308日		目標 (309日)	(305日)	(308日)	(308日)	
			実績 307日	129日	207日	307日	
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	・令和5年9月3日～4日にかけて、台風11号が接近したことにより臨時休館をしたため、達成できなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(R1年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	見学者数9,000人		目標 (9,028人)	(10,500人)	(10,500人)	(9,000人)	()
			実績	674人	980人	4,427人	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・見学者数は前年度比450%増を果たしたが、新型コロナウイルスの影響で主に修学旅行などの団体見学の回復がなされなかったため、目標値に届かなかった。 ・コロナ禍以前の令和元年度の見学者数と比較して、町外団体の見学者数は4割回復、町外個人の見学者数は6割回復している。						

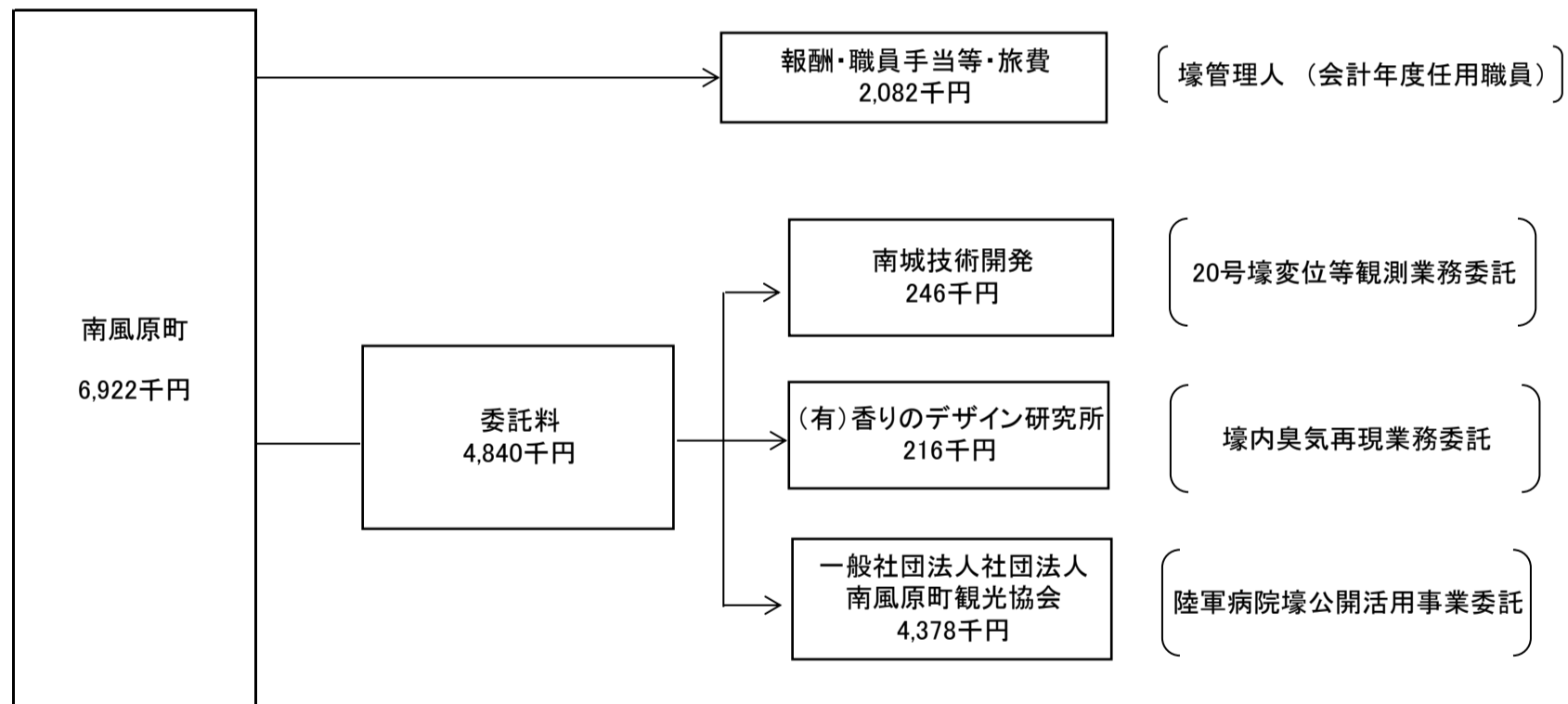
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・新型コロナウイルスの影響により、修学旅行などの団体見学の多くがキャンセルとなった一方、行動制限の緩和が行われたためか、個人旅行による見学者が見学者総数の半数以上を占めた。	・町観光協会や沖縄観光コンベンションビューローなどとの連携、町ホームページ等を活用して見学受け入れ態勢について周知を行う。

今後の取り組み方針

・令和5年5月8日に新型コロナウイルスが5類感染症に感染症法上の位置づけが変更されることに伴い、見学者数の増加も見込まれるため、コロナ禍以前と同等に見学者を受け入れる態勢を整える。態勢を整えるために、ガイド養成講座を実施して、見学対応可能なガイド数を増員するほか、ホームページ等での周知方法を改善を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,380	6,922	5,537	1,385	458



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託について、町の観光資源を活用する組織である南風原町観光協会と、これまでの実績と知識を勘案して選定した業者に随意契約で業務委託を行っており、妥当だと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○1,203千円の不用額が発生したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によるものであり、予算規模そのものは事業内容に見合った適正なものと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	○費目・使途について、事業目的の観点から必要なものか、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②	子ども平和学習交流事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-4-(1)-イ	
担当部課名	教育部 生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成24～令和4年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄戦の実相・教訓の次世代継承		
事業内容	町内小学校6年生の子どもたちが、戦争と平和、差別や人権をテーマに、仲間とともに諸施設での研修や現地の人々との交流を重ねながら学習を深め、視野を広げる。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,428	1,120	1,342	1,137	1,127
		(b) 予算現額	1,052	917	482	321	1,127
		(c) 増減額(b-a)	-376	-203	-860	-816	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		1,052	917	482	321	1,127
	B. 執行済額		979	905	300	212	938
	うち交付金充当額		783	724	240	169	750
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		93.1%	98.7%	62.2%	66.0%	83.2%
予算の状況の説明		不用額の188千円は、報償費及び負担金・補助金の実績によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	子ども平和学習交流事業参加者(8人)		目標 (8人)	(8人)	(14人)	(8人)	
			実績 8人	8人	12人	8人	
事前学習及び県外研修を実施後の報告会を開催		目標 (報告会を開催)	(報告会を開催)	(報告会を開催)	(報告会を開催)		
		実績 報告会を実施	報告書を作成し報告に代えた	各参加児童の発表を録画し配信した。	報告会を実施		
達成状況説明	町内各小学校から6年生計8人を推薦を受けて事業を実施した。 新型コロナウイルス対策を行いながら県外研修を実施し、学習の成果を発表する報告会を開催した。 なお、児童8人のうち1人は新型コロナ感染のため県外研修に参加できなかったが、自宅で資料等を活用した学習を行い、他児童とともに報告会に参加した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	参加児童の保護者へのアンケートで、子どもにより変化がみられた:90%		目標 ()	(90%以上)	(90%以上)	(90%以上)	()
			実績	87.50%	80%	100%	
	参加後、平和や戦争、人権や差別について社会の問題に興味があった児童:90%		目標 ()	(90%以上)	(90%以上)	(90%以上)	()
			実績	62.50%	100%	100%	
	進捗状況説明	新型コロナウイルスの影響で県外研修の実施ができず、現地で学習することができなかった令和2、3年度と比べて、県外研修を実施した令和4年度は子どもにいい変化がみられたという割合が高くなった。現地へ行き、直接見聞きすることで、学習が深まったことがうかがえる。 アンケートでは、児童が研修実施後に平和や人権に関するニュース、世界情勢に関心を持つようになり、家族で話し合うことが増えた、子どもを通して親も学ぶきっかけになった、クラスの友だちを大切にしようになったなどの声があった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>【アンケートの結果から】 本事業の効果発現を確認することができた。県外研修を実施できなかった年度との比較から、改めて現地を訪れて交流学习することの学習効果、重要性を認識した。</p> <p>【新型コロナウイルス感染拡大防止対策の中での対応】 新型コロナウイルスの影響で、県外研修実施の可否判断が直前となってしまった。研修実施においてはあらかじめ対応策を提示し、保護者との連携をとりながら参加児童の安心、安全を重視して事業を運営していく必要がある。</p>	<p>【アンケートの結果から】 現地を訪れ、自分で実際を見て、人と交流する学習を継続していきたい。ただし、戦後78年が経過し、今後戦争体験者から直接お話を聞くという学習が難しくなることも見据えて事業を展開していく必要がある。</p> <p>【新型コロナウイルス感染拡大防止対策の中での対応】 引き続き対策を行い、保護者への説明会などを開催して連携をとりながら研修を実施したい。</p>

今後の取り組み方針

戦後78年が経過して戦争体験者が減少し、若い世代のなかで戦争に対する現実味が薄れるなかでも、子どもたちが事実を自分事としてとらえ、関心を高められるような事業を展開していきたい。現地での戦跡ガイドや若者との交流など、子どもたちが刺激を受け、視野を広げるような学習に取り組みたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
958	938	750	188	20



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流 点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○事業に必要な旅費、現地経費を見積もり等を精査し支出した。参加者(補助金)の選定は学校長推薦により行い適正であった。</p> <p>○事業達成に必要な金額を支出し妥当な額で実施している。</p> <p>○受益者との負担関係については、南風原町子ども平和学習交流事業実施要綱に基づき自己負担を徴収しており妥当である。</p> <p>○費目・使途が事業目的である、研修先への旅費、交流に必要な経費として目的に即している。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-③	南風原町海外移住者子弟研修生受入事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-4-(2)-ア	
担当部課名	教育部 生涯学習文化課	事業実施 (予定)年度	平成24～令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	
事業内容	南風原町出身の海外移住者子弟を研修生として受け入れ、ルーツを辿ることや、移民史や相互の文化歴史を学習する研修を実施する。また、滞在中には学校等で研修生の自国紹介の講義を行い、町内の児童生徒の国際意識を高めるとともに、交流を深める。帰国後は自国の町人会や県人会と連携し、ネットワーク構築と交流を推進するため南風原町とのパイプ役として活動する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,049				740
		(b) 予算現額	950				740
		(c) 増減額(b-a)	-1,099	0	0	0	0
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	950	0	0	0	740
	B. 執行済額		948				699
	うち交付金充当額						558
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		99.8%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	94.5%
予算の状況の説明		前回(平成30年度)までは、研修生2人3か月受入であったが、今回は研修生1人1ヶ月受入とした。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	・受け入れ国の数1カ国(南米ブラジル)	目標	()	()	()	(1カ国 ブラジル)	
		実績				1カ国 ブラジル	
	・研修生(1人)の受け入れ完了	目標	()	()	()	(1人)	
		実績				1人	
	・研修成果の報告会を開催	目標	()	()	()	(報告会の開催)	
		実績				報告会の開催実施	
	達成状況説明	研修生を1カ国(ブラジル)から1人、1か月受け入れた。10月後半～11月後半にかけて、沖縄の歴史文化を学ぶ研修を実施し、世界のウチナーンチュ大会、町の歓迎交流会、世界若者ウチナーンチュ大会などにも参加した。親戚との親睦会や県内めぐりも行い、交流を深めている。11月21日には研修報告激励会を実施し、町長をはじめとした関係者、親戚、お世話になった講師の方々などに研修の成果を報告した。					
	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
①研修終了後、移民史に興味があった:80%以上	目標	()	()	()	(80%)	()	
	実績				100%		
②日本語をさらに習得したい:80%以上	目標	()	()	()	(80%)	()	
	実績				100%		

成果目標 (指標) 及び進捗状況	③日本や沖縄の文化や歴史に以前より関心を持つようになった:80%以上	目標	()	()	()	(80%)	()
		実績				100%	
	④海外の子弟と交流ができてとても良かった:80%以上	目標	()	()	()	(80%)	()
		実績				100%	
	⑤ホストファミリーとしてまた研修生を受け入れたい:70%以上	目標	()	()	()	(70%)	()
		実績				-	
進捗状況説明	①～③については、1か月という従来より短い期間の研修ではあったが、研修生自身が関心をもつ沖縄の文化にもふれることができ、三線については帰国後も自国の研修生OBと一緒に練習を続けたいと話した。④については交流学习を行った南風原中の教員から、生徒が「ウチナンチュとは？」ということを考えるきっかけになったとの感想があった。また、ポルトガル語や英語で授業のお礼の手紙を書いて研修生へ渡す生徒もあり、研修生も非常に喜んでた。⑤については、今回はホストファミリーではなく民宿に宿泊したため評価しない。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>今回は、研修生の出身国ブラジルの町人会長が若い世代で、かつ英語も堪能であったため、受入において必要な新型コロナ関連の検査や手続きなどに関する打ち合わせをオンラインを介して行うことができ、スムーズな受け入れが可能となった。ただし、4世、5世と世代が変わるごとに、日本語でのやりとりや町側の親戚のつながりなど、受入体制の整備も難しくなることが予測される。</p>	<p>世代が変わり、つながりが薄れがちなかで受入体制の維持していくために、定期的に各国町人会や関係者との連絡、交流する機会をもつことが必要である。 若い世代への沖縄・南風原の移民史についての教育普及、国際交流などに関心がある若者の協力よびかけなど、町側の若い世代にも働きかけていく必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>オンラインなども活用しながら、本事業研修生OBを中心とした若い世代の各国町人会とのつながりを強化しつつ、町内学校とも連携して移民史に関する教育普及を進めていきたい。各国と町、双方の交流の環境を整えることで、次世代に向けて継続的で発展性のある交流事業運営を行いたい。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)													
			<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> <tr> <td>698</td> <td>698</td> <td>558</td> <td>140</td> <td></td> </tr> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	698	698	558	140	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費									
698	698	558	140										
南風原町 699千円	→ 補助金 695千円	→ 南風原町海外移住者子弟研修生 (ブラジル1人) 699千円	〔 南風原町海外子弟研修生交付金事業に係る費用 旅費、研修等 〕										
	→ 使用料 4千円	→ 施設使用料 4千円	〔 子弟研修生県内研修に係る引率職員の施設等使用料 〕										

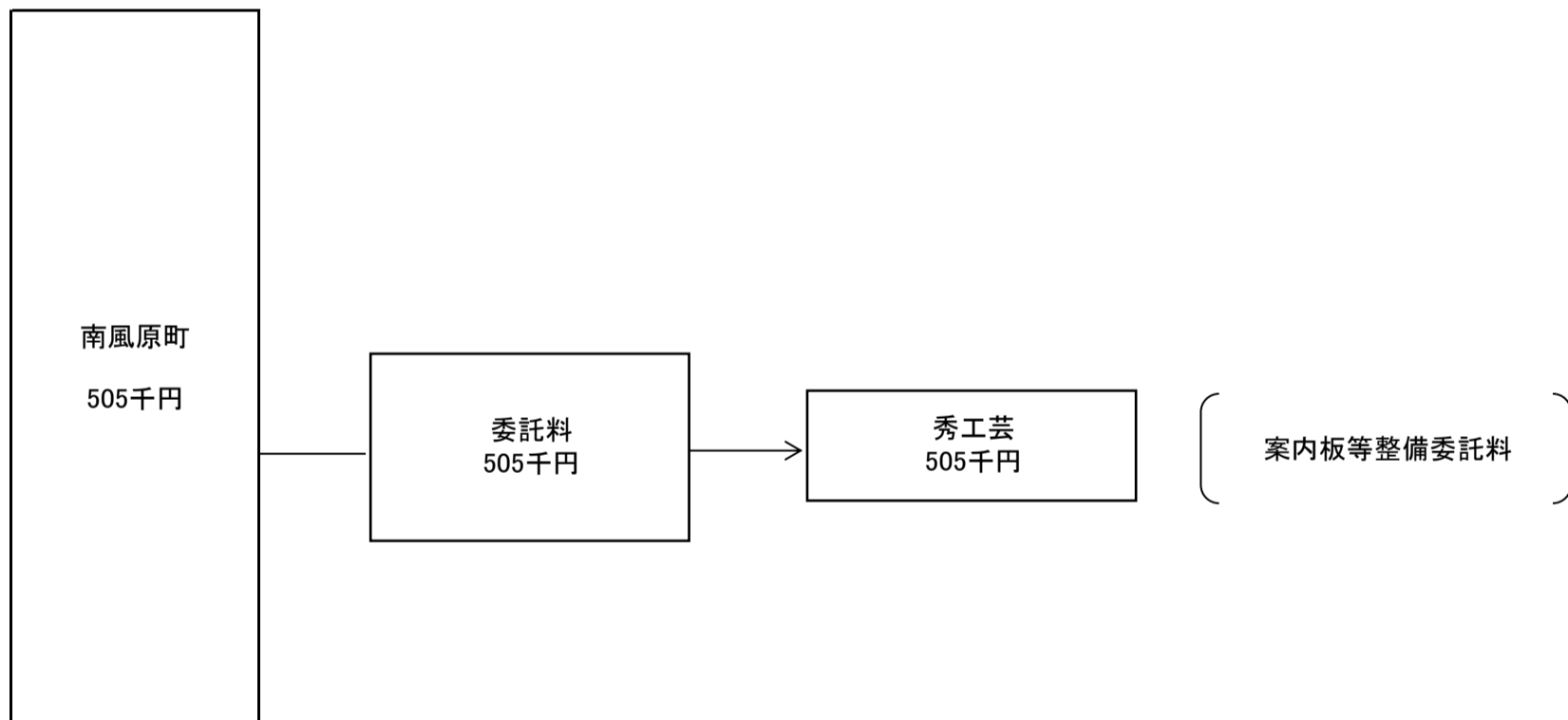
資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は南風原町出身の海外移住者のみと限定しており、支出先として妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業達成に必要な分の金額のみを支出し、妥当な額で実施している。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係については、実施要綱に基づき自己負担を支出しており妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途が事業目的に即している。

市町村名	南風原町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	5-⑤	文化財活用事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア	
担当部課名	教育部 生涯学習文化課	事業実施 (予定)年度	令和4年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及 Ⅲ-3-(3)	
事業内容	本町にある町指定文化財の標柱及び解説板が劣化により破損や文字の薄れ等により見えづらい状況にあるため、来訪者にわかりやすく標柱及び解説板を整備し、南風原町の文化継承に繋げていく。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和5年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度				
	予算の状況	(a) 当初予算額	505			
		(b) 予算現額	505			
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0
		(d) 繰越額				0
		A. 計(b+d)	505	0	0	0
	B. 執行済額		504			
	うち交付金充当額		403			
	次年度繰越額		0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.8%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行を行った。				
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況			
			R4年度			
	標柱の整備	目標	(7箇所)	()	()	()
		実績	7箇所			
	解説板の整備	目標	(7箇所)	()	()	()
		実績	7箇所			
達成状況説明	契約準備から着手が遅れたが、標柱・解説板ともに7箇所を整備した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (R1年度)	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	アンケート調査により、「文化財についての理解が解説板により深まった」との回答の割合	目標	()	(70%)	(70%)	()
		実績		未実施		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()
		実績				
	進捗状況説明	事業完了が3月になり、アンケート調査の回答を得ることができなかったため、令和5年度にアンケート調査を実施する。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・学芸員や地域の協力を得ることで、解説内容の充実や設置位置の検討により、来訪者にわかりやすい解説板の作成ができた。 ・事業着手の遅れから、年度内でのアンケート回収を行う事ができなかった。 	特になし
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・設置した案内板及び各自治会や町観光協会などとの連携、町ホームページ等を活用して周知を図り、文化継承につなげる。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
505	505	403	102	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○委託事業者は、地方自治法及び町規則に則って随意契約により選定をしており妥当だと考えている。 ○複数者の見積金額や事業の成果物から予算規模そのものは事業内容に見合った適正なものと考えている。 ○費目・用途について、事業目的の観点から必要なものか、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-① 長寿県復活食の応援事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第4章-2-(3)-ア 「健康・長寿おきなわ」の復活					
担当部課名	民生部 国保年金課	事業実施(予定)年度 平成25～令和13年度 沖縄振興基本方針該当箇所 Ⅲ-4-(2)					
事業内容	将来の生活習慣病の予防に向け、町内の小学校5年生及び中学校2年生を対象に生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,363	3,438	4,944	4,945	4,440
		(b) 予算現額	2,184	3,216	2,320	2,669	2,954
		(c) 増減額(b-a)	-1,179	-222	-2,624	-2,276	-1,486
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	2,184	3,216	2,320	2,669	2,954
	B. 執行済額		2,143	3,166	2,241	2,608	2,917
	うち交付金充当額		1,714	2,533	1,793	2,086	2,333
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.1%	98.4%	96.6%	97.7%	98.7%
予算の状況の説明		学童期の生活習慣病予防健診受診者が当初の見込みを下回ったため、1,486千円の減額を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	生活習慣病予防健診の実施	目標	(開催)	(開催)	(実施)	(実施)	
		実績	開催	開催	実施	実施	
	健診結果説明会の実施	目標	()	(開催)	(実施)	(実施)	
		実績		中止	中止	中止	
達成状況説明	コロナ禍中であったが、事業を中止することなく新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め学童期における生活習慣病予防健診を小学5年生231人、中学2年生183人に実施することができた。生活習慣病予防健診後は健診結果説明会を開催し、親子で健診結果からの生活習慣を振り返るための学習を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため計画していた集団学習会は中止し、結果郵送時に生活習慣振り返りのためのパンフレット等の資料を同封した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	中学2年生の継続受診率60%(平成30年度小学5年生で受診した者のうち、中学2年生でどれだけ健診を継続して受診できたか)	目標	()	(60%)	(60%)	(60%)	()
		実績		68.0%	56.6%	78.1%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	令和元年度に小学5年生で受診した者のうち、令和4年度も継続受診した割合は78.1%であり目標達成できた。					

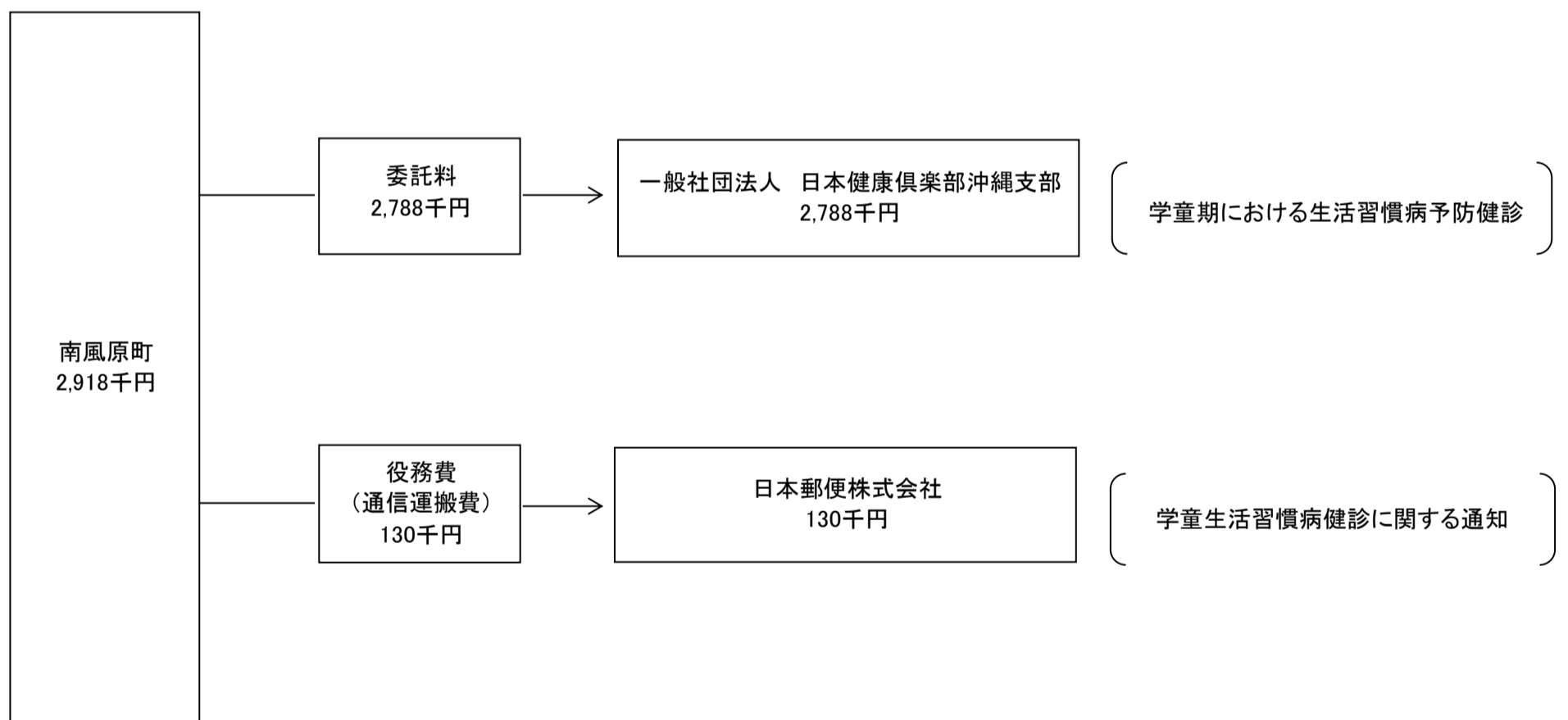
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の目的は生活習慣病予防健診の結果を知ることによって生活の振り返りを行うことである。しかし、コロナ感染拡大防止の観点から生活習慣病予防健診後の親子での集団健診結果説明会は中止している状況である。 ・親子で生活を振り返るような情報の提供ができないか検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防健診受診日は保護者同伴のため、生活習慣病予防健診会場を活用した生活の振り返りができるような情報の発信を考えていく。 ・情報を活用することで子どもを通して家族全体の健康づくりに役立てられるようにねらいを定めた情報発信をしていきたい。

今後の取り組み方針

・生活習慣病予防健診結果と生活習慣とのつながりを本人および保護者がイメージできるよう最新知見を取り入れ、当事者の生活実態に合わせた情報が発信できるよう、健診当日にミニ健康学習会の開催を検討する。また家庭においても実施出来るように配布できるような資料を考える。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
2,917	2,917	2,333	584	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業にあたっては業者調査を実施。委託事業の要件に見合う業者が1か所のみであったため、南風原町契約規則に基づき随意契約を行った。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、用途について精算段階で検査を実施しており、目的に則し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南風原町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	南風原町観光地域保全対策事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(4)-(イ)	
担当部課名	経済建設部 まちづくり振興課	事業実施(予定)年度	令和4年度		沖縄振興基本方針該当箇所	大規模災害等に備えた強しなやかな県土づくりの推進 Ⅲ-10-(3)	
事業内容	河川の氾濫等に伴う、冠水による水害から観光客及び住民の安全を確保するため、シミュレーションによる浸水解析を行い、既存施設の有する排水能力等を評価し、浸水想定区域図の作成および浸水対策等の基本計画を策定する。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和10年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	28,000				
		(b) 予算現額	27,500				
		(c) 増減額(b-a)	-500	0	0	0	0
		(d) 繰越額	-				0
		A. 計(b+d)	27,500	0	0	0	0
	B. 執行済額		27,500				
	うち交付金充当額		22,000				
	次年度繰越額		0				0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		予算の減額については、入札残によるもので500千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	基本設計の策定	目標	(設計策定)	()	()	()	
		実績	設計策定				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	計画通りに基本設計を策定することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R10年度)
	基本設計の策定完了。	目標	()	(策定完了)	()	()	()
		実績		策定完了			
	【参考指標】 事業完了後の令和10年度の道路の冠水被害、浸水被害件数0件	目標	()	()	()	()	(0件)
		実績					
	進捗状況説明	浸水想定区域図の作成および浸水対策等の基本計画を策定することができた。					

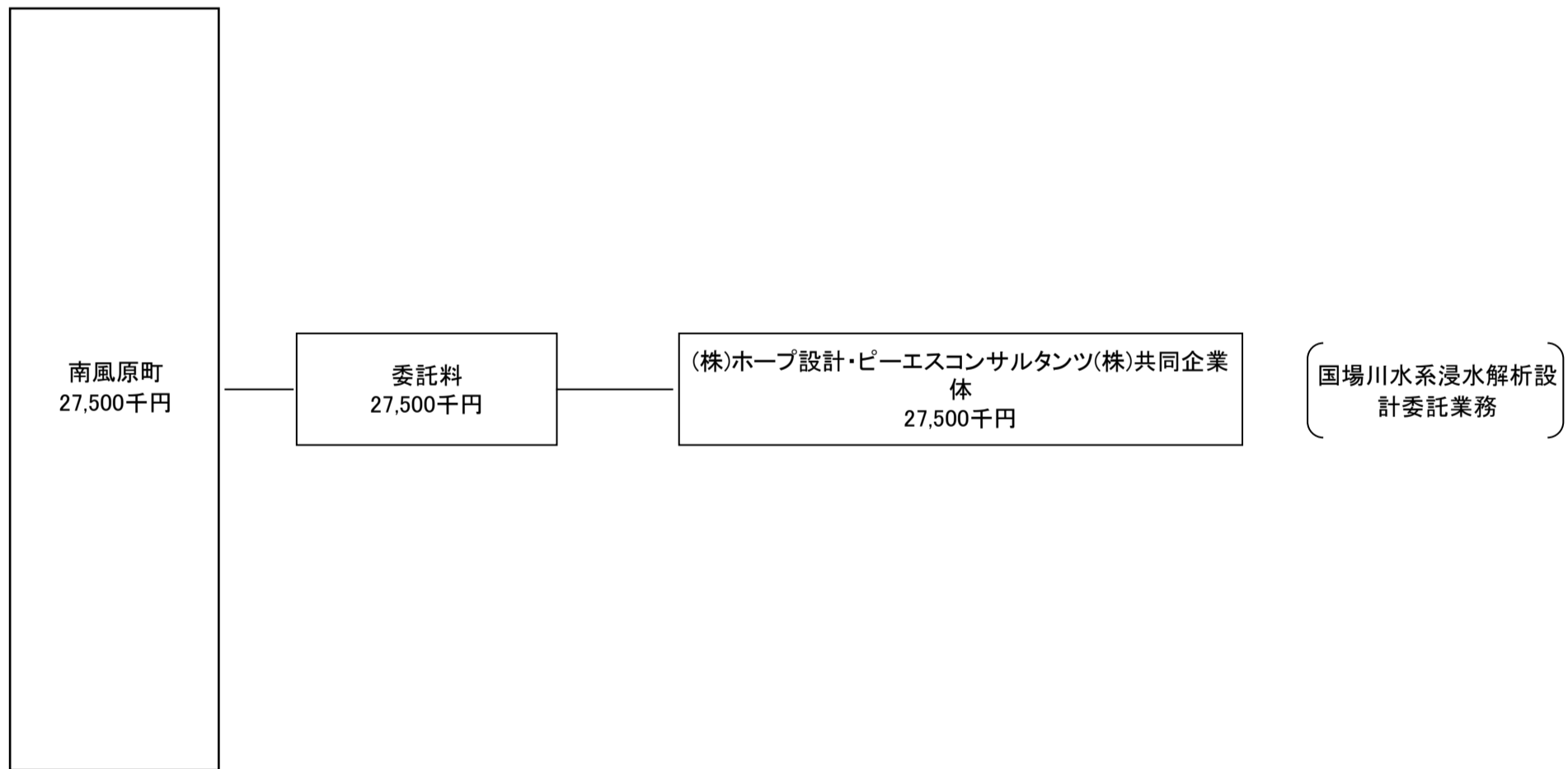
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・浸水被害の原因について、解析作業が進むにつれて、近年の局地的な豪雨による管渠等の能力不足だけでなく、流域や地形の影響など複数の要因があることが確認された。</p>	<p>・浸水被害の実績と解析シミュレーションの結果を踏まえ、河川整備と下水道整備の両方の対策案で最も費用対効果の高い対策を検証していく必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・本事業を実施したことで、浸水被害にかかる要因や対策施設の規模を把握することができた。今後は浸水被害 0件をめざして施設整備に取り組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
27,500	27,500	22,000	5,500	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託業務の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○予算規模については不用額は500千円であり、適正な規模であったと考えている。</p> <p>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	